各種社會問題之研究

滿洲之社會

九月號

第參卷第壹號

滿洲社會事業研究會

一資本金　壹　億　圓

一積立金　七千四百五拾萬圓

本店　横濱

支店　東京、大阪、神戸、名古屋、長崎、下關、倫敦、漢堡、里昂、紐育、桑港、羅府、布哇、シドニー、新嘉坡、カルカッタ、シャトル、スウラバヤ、スマラン、ブエノスアイルス、バタビヤ、リオデジャネイロ、西貢、孟買、蘭貢、馬尼刺、香港、上海、漢口、廣東、青島、濟南、天津、北京、牛莊

出張所　（營口）、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽斯德

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

電話＝代表番號三一六一番
海關取扱所四七六二番
宿直專用六〇一五番

滿洲之社會　第參卷第壹號（大正十三年九月發行）

資本金　八千萬圓
拂込濟資本金　五千萬圓
積立金　壹千百四萬圓

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝朝鮮、滿洲及亞港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候

本店　朝鮮京城南大門通
振替貯金口座　京城三三三番

朝鮮銀行

總裁　野中清

支店出張所

- 内地　東京、大阪、神戸、下關
- 朝鮮　釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
- 滿洲　大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯、長春、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸
- 支那　上海、青島、天津、濟南
- 露領　浦潮斯德　亞港
- 米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他内外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

資本金壹千四百四拾萬圓

關東州地方費現金取扱

大連市金庫事務取扱

日支合辦 株式會社

龍口銀行

大連市浪速町

電話 代表番號 七一五一番
宿直用 五七三六番
公衆用 三三二八番

振替口座大連 一五五〇番

支店所及出張所在地 龍口、青島、哈爾賓、安東、鞍山、公主嶺、瓦房店、松樹

派出所 大連市內磐城町

日本內地及臺灣、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之

一般銀行業務便宜に御取扱仕候

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤、

出張所　間島

東洋拓殖株式會社

大連支店

電話　長七一四七番　七一四九番

振替口座大連一九七八番

受信略號タイレン、トタク

奉天支店

電話　長六五七番　長三九七番

振替口座大連一九六八番

受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付

一、農業、水利事業及土地ノ經營

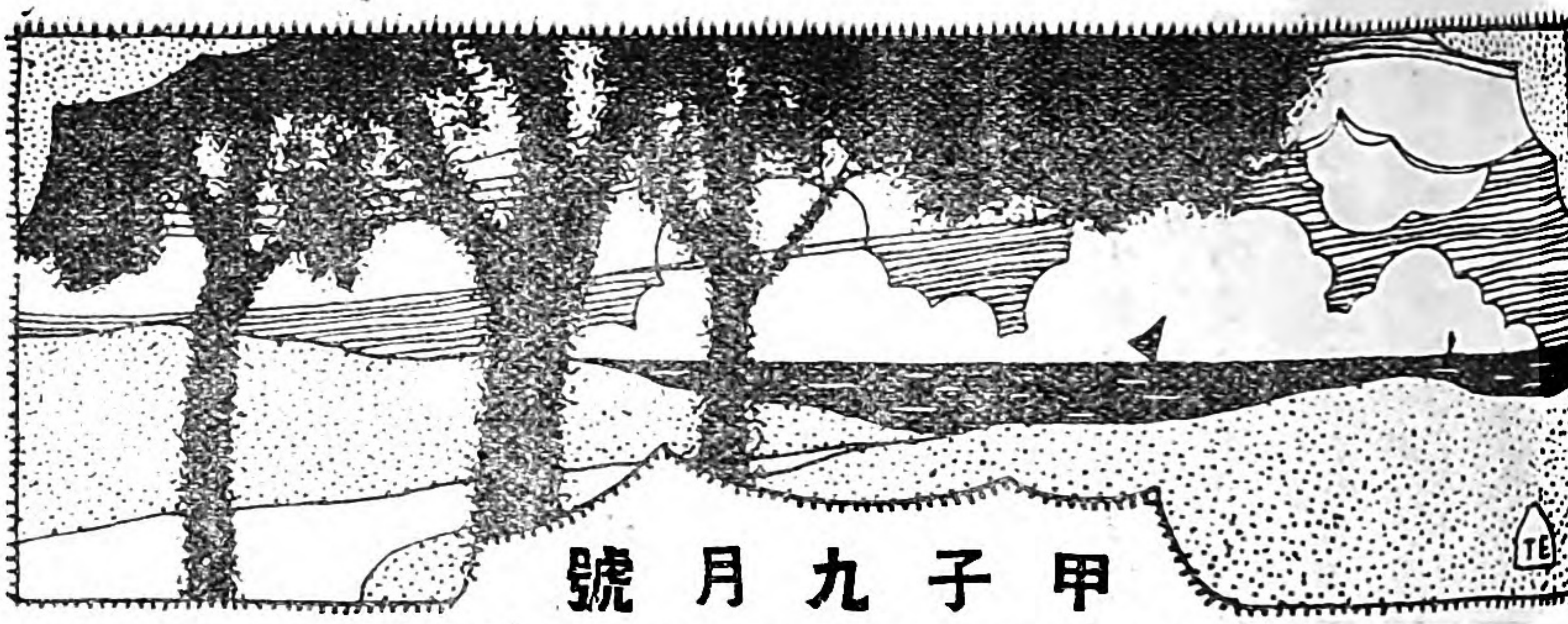
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生産物品ノ分配

一、移住民ニ關スル業務

一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理

一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營

一、定期預リ金



嗚呼九月一日

日本國民として忘るべからざる九月一日は來れり。嗚呼九月一日、昨年の九月一日は、帝都東京を中心の關東地方に大震災起りて、多數の死者、傷者を出し、一切の物的施設を烏有に歸せしめ、多大の損失を我が帝國に蒙らしめたる當日なり。物質文明に陶醉し、浮華輕佻の俗に浸りたる我が國民の多くは、流石に愕然として長夜の眠より覺め、生活改善の聲到る處に高まりたり。今や當に滿一年、當時を回想して我國民は果して如何の感ありや。

此の大震災より得たる教訓は、人智限りあり、人力如何に強きも、天力には敵せず、徒らに人力をのみ賴むべからずと云ふ宗教的のそれなりき。人力による帝都の復興は意外に捗取り、バラック造りなるも、滿一年の間に帝都は殆ど原狀に復したるが、之と共に又々横着心を生せざりし乎。生活改善が聲のみにて實の擧がらざりしは如何。外面生活に走りて內面生活を顧みざる者なき乎。窃かに省みて衷心忸怩たるものなくんば蓋し大いに幸なり。

嗚呼九月一日は來れり。彼の天災以後における滿一年間において、國民各自互ひに能く抑制し、戒飭し、此間に禍を轉じて福となし得たるもの果して幾何かある。當時の震災を天譴などいふは迷信に庶幾きも、天譴と思ふ程に眞面目の本來心に立還らば、奢侈贅澤、投機虛榮の弊風は一掃せらるべき筈なり。然るに此の弊風は今尚ほ依然として存す。九月一日を忘るゝ勿れ。昨年の九月一日は我國民に降下せる災禍たり教訓たるを知らざる可らず。



多數と少數、量と質

併せて民衆主義を論ず

山田芙峰

多數と少數と相爭ふ時、其の差僅に二分位に過ぎない場合は、少數必ずしも劣敗すると定らないが、三分乃至五分の差となると、特別の事情なき限り、必ず多數の勝利となる。此の勢ひを最も如實に表はすものは今日の議會政治である。原敬に率ひられた全盛時代の政友會は、衆議院に絶對多數を制し、一方貴族院の多數派たる研究會と結托し、議會政治を殆ど我物顔に取扱つた。其の結果、多數の横暴となり、少數の意見は如何に正しくても議會で葬られ、政治上に種々の罪惡を作り、國民の心ある者をして議會政治に面を背かしめ、議會政治非認論さへ起つた。多數勢力も斯うなつては禍である。

現在の我國の政黨には絶對多數黨なるもの之なく、今の加藤内閣は衆議院に比較的多數の議席を有する憲政會を中堅とし、これに分裂後の政友會と革新倶樂部を加へ、謂ゆる護憲三派の協調によつて支持されて居るに過ぎない。少しく心細いが其の代り政友會全盛當時のやうな横暴もなく、罪惡もなく、少數の正しい意見が無下に葬られるやうな事もあるまい。議會政治の本場所たる英國も、今日は統一黨、勞働黨、自由黨の三派鼎立となり、第二黨たる勞働黨が内閣を組織し、自由黨が之れに對して好意的中立の態度を取つて居るので、危つかしい所もあるが、多數勢力の横暴といふ事は制せられて居る。

議會政治、政黨政治としては、多數を制することが政治の要諦であるが、數の多きを恃んで横暴邪惡を逞ふせば、政治は竟に墮落する。政治が益々デモクラチックになり、民衆主義といふ事が重んぜられる樣になれば、多數の勢力を擁したものが政治上の優勝者となる譯であるが、單に多數といふ丈で、量のみで質を缺く時、謂ゆる民衆政治なるものはウキルソンの言つた程に難有いものではない。民衆政治の本家本元を以て自任する米國は、其の實際において、資本主義、帝國主義、軍國主義の國であり、而も其の民衆政治は次第にモッブ化し、デモクラシー一變してモボクラシーとなり、輿論必ずしも正議公論ならず、却つて愚劣な意見が政治を支配して居る。彼國の上下兩院が排日的移民法案を可決したのは其の最も著しい例である。汎太平洋食料品保存會議に出席した米國代表デヴイド・エム・ジョルダンは『米國議會の可決した日本人排斥法案は今日まで世界に行はれた中で最も亂暴な法律である』と言つたが、米國の識者階級、卽ち現在の政治界

に幅を利かしてゐる多數者以外の少數者も、排日的移民法を非とし、議會が此くの如き愚劣な法案を可決したことを米國のために悲しむと言つてゐる。民衆政治卽ち多數政治で、多數を制することが其の政治の要諦であつても、米國の議會政治のやうになつては、是れまた禍なるかなである。

多數の民衆は、唯その儘であつて組織と統制を缺き、且之れを指導し統率する者がなければ、謂ゆる烏合の衆で、意志も感情も一致せず、纒まつた正しい意見の生ずる筈もなく、隨つて權威ある勢力とは成り得ない。此の民衆の同類意識を結合したものが政黨、又之を職業的に團結したものが勞働組合で、前者は專ら政治的に、後者は主として經濟的に働く。而もその孰れの團體にも統率者と幹部とがあり、その統率者と幹部とは智能才幹の優れた少數者であるから、多數は結局少數の指導を受けるわけで、之なければ民衆政治の實は擧がらぬ。ベルンスタインは『世間並の人は領袖の指導なければ全然無力者である、黨略上必要なことは領袖の決定に待たねばならぬ』と言つたが、事實その通りで、世間並の人、卽ち民衆は指導者の下に組織と統制を得て始めて力あるものと成るのである。事實は卽ち眞理である。

此の多數と少數との關係は、クアンチテートとクアリテート卽ち量と質との關係で、多數の量に少數の質が加味されなければ、如何に團結しても其の團體は政治的にも經濟的にも力強いものとなり得ない。多少の例外はあるとしても、量多きは質劣り、質好きは量少し、と云ふのが一般の原則であるから、質の乏しい量のみの多數では、政黨でも、勞働組合でも、其他の團體でも、滿足な働きを爲さず、其の行動はモッブ的と

なり、又その統率者と幹部に智能才幹と共に理想と德性を備へた人物がゐないと、謂ゆる多數專制、多數橫暴を馴致し、政治上にも、經濟上にも、種々の罪惡を作り、民衆主義の價値を滅却する。封建時代における寡頭專制の政治は、稀に民衆の利福を念とした例外もあれど、大體において少數橫暴となり、生民を塗炭の苦に陷れたので、人智の進步と時代の變遷に依つて玆に民衆主義なるものが生まれたのであるが、其の民衆主義が多數橫暴を馴致しては、之が弊害もまた決して尠くないのである。

今日の勞働組合は幾つかに別たれ、其の幾つかの組合が相聯盟して一ッの大きな勢力となり、英國ではそれが產業及び經濟の上のみならず政治の上にも力を伸ばして來た。資本主義が餘りに暴威を揮つた爲め遂に勢力の變遷期に入つたのである。併し其の勞働組合を根幹とする勞働黨が絕對多數黨となり、政治舞臺に威力を加へ來れば、資本主義が一段の打擊を蒙ると同時に、他の一面に漸く多數橫暴の弊を生じ、種々の罪惡も釀される事であらう。其處に統一黨と自由黨との健全を希望する民意が伏在する。統率者と幹部が如何に賢明であつても、餘りに多數となると、其の團體は非常に複雜なものとなり、量が勝つて質が劣るやうになる結果、勢ひ橫暴に流れ易いのである。多數を制しさへすれば可なりとして、無選擇に有象無象を糾合すれば、其の團體の質の力は必ず低下する。我が政友會の前身がそのいゝ證據である。

民衆政治卽ち多數政治、議會政治卽ち政黨政治であるが、之を統率し指導するものは少數者で、其の少數者の賢不賢と德不德とは此の政治における善惡の分岐點であり、また政黨優劣の分水嶺である。統率者と幹

部とが常に民衆の善導を念とし、量の結合と共に質の向上に勗めて已まぬならば、民衆主義は益々善き方面に進み行くべきも、然らざる時は民衆主義變じて衆愚主義となり、其の政治は愚劣、横暴、邪惡となり、結果において寡頭專制の獨斷政治と異ならぬ樣になるだらう。勞働團體とても同じ事である。玆に於てか、指導者の責任の重きと共に、多數者の訓練、勞働者の教育といふことが大切になる。

訓練とか教育とかは要するに質の向上を圖る事である。如何に教育が普及し民智が進歩しても、量多きは質劣り、質好きは量少し、と云ふ一般の原則に變りはないのであるから、民衆主義は量を結合して其の量の上に質の力を加味し、更に量を率ふる質の少數者に吟味を加へ、猶ほ進んで量の多數者を出來るだけ質好きものに教育し訓練せねばならぬのである。それが民衆主義の眼目である。

勝敗に重きを措き、唯勝たん事をのみ欲し、質といふ事を毫も考ねず、單に量を增して多數を制せんとするが如きも、民衆主義を毒するもので、之より生ずる議會政治、政黨政治は決して健全なものでない。幹部員さへ確かりして居れば、或る程度まで量の惡化を防止し得るも、質を無視した量のみの結合は、其の複化と相待つて、不知不識その團體を邪道に踏み込ましめる。一たび邪道に踏み込む時は、如何に團體指導の幹部員が賢明であつても、滔々たる其の勢ひには抗し難い。是れまた我が政友會の前身が立派に證據立てたではない乎。多數を制するのが議會政治の要諦であるには相違ないが、勝敗に重きを措き、勝たんが爲めにのみ量の增殖を圖るが如きは、寧ろ民衆主義を毒するものと謂つべしである。

此の多數と少數、量と質との關係は、人口問題に就いても考へ得られる。人口は減るよりも增す方がいゝとしても、餘りに增加すると、量多きは質劣り、質好きは量少し、と云ふ一般的原則によつて、其の人口の內容を劣化する。五人の子供が揃つて健全且優良であるのは稀で、その內には病身のものや不良性のものが出來、或は夭折したりする。それと同樣に、一國の人口が無限に增殖すると、低能兒、不良兒、惡癖者、精神病者、結核病者、中毒患者などが多くなり、量の增すに從つて質が惡くなる。年に七十萬人宛も增加すると云はれる我國の人口について仔細にその內容を調べて見るがいゝ。決して樂觀は能きない筈だ。人口增加を無暗に謳歌するのは、軍國主義的、資本主義的偏見であつて、眞に國家の隆興と社會の健全を切望するものは、量の增加と共に質の向上といふことを深く考ふべきである。サンガー夫人の主唱に係るバース●コントロールにも眞理はある。ユーゼニックスやラッセンヒゲエーネーの原理も之を人種改良政策又は社會政策として行ふべきものである。人口が增しても內容が劣つては何にもならぬ。

徒らに多きを望む勿れ、多きを望むより少くても質の好きを採れ、船頭多ければ船を山に登す、冗員は決して事務の能率を上げる所以でない。金錢も多きに過ぐる時は人間を惡くする。英國人のいふ印度のスコアートルの如き人間が多くなつては困る。質の劣つた多數よりも質の優つた少數の方がいゝ。デモクラシーを穿き違へてはならぬ。多數を結合して之れに組織と統制を與へ、更に進んで之を良化するのが民衆主義の本領である。多數と少數との問題は實に深思すべき重大問題である。

凡夫偉人

◆煩惱則菩提で迷へば佛も凡夫であり悟れば凡夫も佛であるが實際は迷へる佛や悟れぬ凡夫が多い◆民衆主義ぢや議會政治ぢや政黨政治ぢやと云つても迷へる佛や悟れぬ凡夫が大多數を占めて居ては何にもならぬ◆英雄首を回らせば則ち神仙で眞の英雄豪傑は一面より見れば迷はぬ佛であり一面より觀れば悟れる凡夫である◆太陽は大きな平凡雲なき大空も平凡浪なき大海も平凡だが其の大きな平凡が偉大なのであつて人間も斯うならなければ眞質の高材逸足とは言はれぬ◆偉人は必ず眞骨頭で些の僞りがない街氣や山氣もない赤裸々に眞情を流露して動き而して犧牲献身の精神に富んで居る◆僧月照と投身した西郷南洲や己れの寫眞を見て俺の顏には痣があるのに何故それを寫さなかつたかと言つたクロンウエルや大統領時代に途中で木から落ちた鷄を救つたリンコーンや◆是等は何れも眞骨頭であつて太陽、大空、大海の如き大きな平凡であつたと同時に稀に見る偉人傑士であつた◆巨賈は深く藏して空しきが如く大賢は愚なるが如く大偉人は一見恰も凡夫の如くである◆リンコーンは米國に於ける民衆政治家の鼻祖でクロンウエルは曲れる强者を挫いて正しい弱者を援けた大人物だ◆南洲をして現代に在らしめたならば彼は新政厚德の旗を民衆主義の上に飜へして民衆の犧牲となるを辭せないであらう◆然るに今日の民衆主義者や民衆政治家には民衆を踏臺にして虛僞や場當りな事をいつて自家の權勢を張り利祿を貪るものが多い樣に思はれる◆民衆も民衆で斯うした山師やイカサマ者を偉い人だと云つて無暗に難有がるため彼等の催眠術に罹つて莫迦な目に遇ふのだ◆容貌魁偉のもの必ずしも英傑にあらず風采の上らぬ一見平凡な人物に案外な駿髦がある孔子のやうな賢者も子由を例に引いて容姿を以て人を判斷すると誤まると嘆いたではない乎◆六尺豊かの身體で風采堂々たる者が壇上に立つて縱横無盡に詭辯的雄辯を揮ふと傍聽人は譯もなく喝采してしまう◆多數者卽ち民衆であるが教養の足らない民衆はソクラテス時代に一世を風靡したやうな斯種の詭辯家を歡迎するので結局欺されてポカーンと爲るのだ◆此の民衆の弱點に乘じてモツプ政治家や煽動政治家が得たり賢しと幅を利かすのである◆佛敎でいふ衆生は

即ち民衆だが夫れは印度語の所謂サトトバであつて地獄、餓鬼、畜生には優るも阿修羅、人間、天、聲聞、獨覺、菩薩、佛には成れない唯それだけの生物だ◆併しサトトバも修練して悟りの境に入れば佛となることが出來る唯奈何せん左樣に圖拔けた大人物は滅太に出ない◆玆においてか凡夫の民衆は悟れる凡夫即ち迷はぬ佛に率ひられて弘誓の船を彼岸に向けて漕がねばならぬ牧者に率ひられなければ羊の群は亂れがちとなる◆民衆を組織化し之れに統制と規律とを與ねて彼等のために眞劍になつて働くのが眞の民衆主義者であり民衆政治家である◆大平凡の太陽は金殿玉樓にも賤が伏屋にも蚤が苫家にも平等普遍に光を投げる等しく大平凡の大空にも大海にも偏頗はない◆凹れるを直し不平等を平等にし右に傾き過ぎた勢ひを左に矯めて而も左に傾き過ぎず而して大中至正の公道に民衆を導くのが眞個の大人物である◆勢ひが左に傾くと其の勢ひに乘つて民衆を煽てるのは僞人だ夫れと同樣に勢ひが右に傾くと其の勢ひに乘つて調子付いた事をするのも等しく僞人である◆眞骨頭は勢ひが左傾し過ぎたとき右に廻り其の反對に勢ひが右傾し過ぎた時は左に廻つて逆に舵を取るものだ◆船頭は波が左に動くと右に重舵と出で右に動くと左に取舵と出る而してバランスが執れると始めて大きな聲で安心した樣にヨーソローと叫ぶ◆ヨーソローとは宜敷候から轉化した言葉で詰まり宜しう御座ると云ふ意味だが是れが中庸の道即ち大中至正であるのだ◆何と云つても弱者の味方となつて民衆の救護と善導に己れを捨てゝ勗めた偉人は釋迦と基督位なものであらう◆是等偉人の心を心として政治的、經濟的社會的に民衆の統率、敎化、善導に勞するのが眞の民衆主義者であり民衆政治家であつて民衆と苦樂を倶にするところに彼等の値打があるのだ◆斯うした眞人が勞働者の中よりも智識階級乃至中產者の中よりも出なければ民衆主義の普遍的徹底は望まれない◆ブルジョアもプロレタリアの心の中に飛び込み又プロレタリアもブルジョアの心を解し後藤子の言つた樣に法被とフロックと握手するのも必要な事である◆迷へる佛や悟れぬ凡夫が口先ばかりで腹のない空蹺な藝當を打つて居ては何時迄も民衆主義の價値は現はれない◆民衆それ自身も自己の敎養と鍛錬に努めて質の向上を念とせねばならぬ。



職業紹介所と其の事業

內務省社會局書記官　齋藤　樹

職業紹介事業は勞働保護事業の中に於て特に職業選擇の自由を保護する事業を指すのである。元來職業紹介所なるものは浮浪勞働者の如き浮浪人の救濟を目的とした設備であつた。英吉利其他の外國の例に見ても救貧法に依つて貧民救護を行ふのに物質的の施與をすることは、人をして獨立自營の念を失はしめ、遂には他から施與を受くることを何等耻辱と感じない樣になる、換言すれば、僅かな賃銀を得るよりは寧ろゴロゴロして居た方が宜い、國家から多くの生活の補助を與へて呉れる以上、それに依賴した方が優しだと云ふ觀念を起さしめる。茲に於てか、人に物質的惠與を爲すは人を救ふ所以でない、それよりも職業を授けて獨立自營せしめる樣に導かなければならぬと云ふことになつた。そこで乞食をして居る者や無職のために浮浪して居る者には、一定の宿泊場所を與へ、一定の職を覺ゑさせ、さうして其の職業に就かしめて遣るやうに工風しなければならぬ。それが今日の職業紹介所の起つた原因である。我邦に於ては明治四十年頃から公設職業紹介所の設立が弗々起り、政府に於ても極力之を奬勵して來たのであるが、其の目的が何處に在つたかと言へば、やはり窮民救助の一方法として考へられて居つた、卽ち浮浪者の救濟、失業者の保護と云ふことが唯一の目的であつたのである。外國に於ても固より同一である。

然るに其後に至り職業紹介の事業は一方に於て勞働の需用供給を調節すると云ふ謂はゞ產業上の施設とし

て認められる樣な傾向が生じて來た。元來失業なるものは或る地方に於て勞働の需用供給が權衡を失した場合に生ずる所の現象で、即ち勞働者が有餘つて居るに拘らず、勞働を要する仕事が足りないと云ふ場合に生ずるのである。斯の如き場合に於ては、或る地方に在つては勞働者が餘つて居り、或る地方に在つては勞働力に不足を感じて居ると云ふ樣なことが往々ある。隨つて或る地方に於て餘つて居る勞働力を他の不足を訴へて居る地方へ移動せしむることが出來たならば双方とも其の產業情態が順調に進むことになるだらう。斯うした事由からして今日の職業紹介の事業は、浮浪勞働者を救濟し又は失業者を保護すると云ふ目的以外に產業上の一施設として勞働の調節と云ふ大なる目的を有つことになつて居る。つまり今日では此の職業紹介所が救濟施設として看られずして產業施設として看られる樣になつたのである。

東京市の中央職業紹介所に於て取扱つた解雇勞働者の解雇原因に就いて調べて見ると、多少の例外はあるけれども、大多數の者は自分自身の與り知らざる經濟界の變動といふ偶然的な事由に因つて解雇され失職したのである。此事は我邦において然るのみならずラウントレーの失業の原因調べに就いて見ても同樣である同氏の著はせるポバーチーと云ふ書に依て見ても殆ど約七八割の人は產業情態の變動が原因となつて職を失つた事になつて居る。職を失つた者が生活の途を與へられざる情態に至れば則ち窮民となる、其の人々を如何に救ふべき乎、如何にして失業の情態に在ることを防ぐべき乎、之を防いで再び職に就かしむるには如何にすべき乎と云ふことが、職業紹介所の働きとして深く考へなければならぬ點である。前陳の產業上の施設としての働きと、失業豫防施設としての働きと、兩方面から之を觀察する必要がある。

次に如何なるものが職業紹介事業を經營するに適當であるかと言ふと種々な主體がある。先づ第一には勞働を要求する人即ち工場主や資本家側の人々が經營する紹介所がある。之れは自分に都合の好い柔順な餘り

苦情を言はぬやうな勞働者を多く吸收しやうと云ふ目的で立てられる。謂はゞ企業者組合の經營する紹介所である。之に對抗して勞働者の權利を主張し勞働條件の改善を圖つて行かうと云ふ爲めに勞働組合の經營する紹介所がある。又其の何れのものにも屬せず、丁度中立の態度を以て公益を目的とする團體又は一私人の經營する所の職業紹介所もある。此等のものと相並んで別に營利を目的とする謂ゆる口入屋又は周旋屋と云ふものもある。之も一種の職業紹介所である。以上は私の團體又は個人の經營する私設の紹介所であるが之に對して公設の紹介所がある。西洋には英國の如く國家自ら經營の主體となつて國營事業として全國に職業紹介所の網を張つて居る國もあり、佛蘭西の如く國家の事業とせずして地方團體の事業即ち市町村の事業として職業紹介所を經營せしむる國もある。國營事業として經營して居るものと、公共團體の事業として經營して居るものと、此の兩方を總稱して公設職業紹介所と云ふのである。營利を目的とする職業紹介所に比較して營利を目的とせざる職業紹介所の優つて居ることは言ふまでも無いのである。何となれば非營利的の職業紹介所は職業を求むるに付いて費用を節することが出來るからである。併し同じ營利を目的とせざる紹介所であつても、企業者側或は勞働者側の團體が經營する場合に於ては、一方の利益を偏重すると云ふ弊が無いでもない。そこで第三者の立場に在る公益の爲めに經營する職業紹介所が必要となる。更に等しく公益を目的とする職業紹介所であつても、個人若くば私團體の經營するものよりは、公設紹介所の方が設備の點に於ても、職業紹介所の相互の連絡を保つ上に於ても、共に遙かに適當である。隨つて產業上の施設としても社會上の施設としても、公設の職業紹介所は其の營利的、私營的のものより遙かに適切であり、隨つてまた職業紹介所としての本分を全ふするに適すると云ふことを考へなければならぬ。

華盛頓に於て議定された失業に關する條約は其の第二條に於て「各國は公設無料の職業紹介所に關する制

度を立つべし」と定めてある。則ち公設を原則として居る。公設の内、國營を以てするが宜いか、地方團體の經營を以てするが宜いか、未だ遽かに決することが出來ないが、國營の場合には勞働移動の機能が全國的に行はれる長所があり、地方團體の經營する場合には其の勞働移動が地方的の小範圍に止まると云ふ缺點がある。然しながら能く其の地方の產業情態、社會事情に適應して機微に觸れた勞働調節を爲し、さうして失業の豫防を爲すには孰れが優つて居るかと言へば、地方團體や私人の經營する方が優つて居る。我邦に於ては地方團體の經營を原則として居る。再昨年制定せられた職業紹介法に於ては市町村が職業紹介所を經營することに規定して居る。然るに市町村が經營する場合に於ては、勞働調節の働きが地方的に止まり隨つて全國的に行はれぬから、此の短所を補ふが爲めに、職業紹介所の相互間に於ける連絡統一を十分にすることが必要である。そこで職業紹介法は全國を數區に別ち、各區に職業紹介事務局を設け、之に依つて相互間の連絡統一を保つことにして居る。さうして昨年十月からは地方移動交換部が設置された。

職業紹介所の紹介に依つて、職を求める者、人を求める者が紹介料、手數料を支拂ふに方り、人を求める者は左まで苦痛もあるまいが、職を求める者に取つては可なりの苦痛である。隨つて勞働條約に於ては公設無料の職業紹介所に關する制度を設けて居る。我邦の職業紹介法も、何等の名義を以てするを問はず、手數料其他の財物を受けてはならぬ事になつて居る。斯うして公設主義、無料主義を貫いて全國に職業紹介所の網を張り、其の多くのものを相連結し、相結合し、此の連絡に依つて失業者の發生を豫防し、浮浪者、失業者に對する救濟善導の作用をも全うして行くと云ふことになつて居る。

職業の自由を保護する爲め職業紹介所が設けられて居ることは、防貧業事中の生活上の自由及び實驗上の自由を保護する立場から見て、我邦に於ける防貧事業の一進轉期を劃したものと言つて宜いと思ふ。而もそ

れが亞米利加に於ける産業に關する條約案の趣意と一致して居る。將來或は此の條約案の趣意に依つて營利を目的とする紹介所を如何にするかと云ふことが問題にならうと思ふ。然しながら現在に於ては營利を目的とする周旋屋や紹介所を潰すことは出來ない。第一に打突かる問題は、今日は藝娼妓の周旋を口入屋が扱つて居るが、公設無料主義を貫いて此等藝娼妓の紹介までも職業紹介法の條規上から取扱ふや否やと云ふことになると、それは安易に解決し難い問題である。さうかと言つて今日の如き我邦の社會狀態では藝妓娼妓の制度を一掃して其の撲滅を期することも不可能である。斯くの如き方面に於ては營利を目的とする職業紹介所の存在が理由あることゝなるのである。唯之に對しては、監督を嚴重にし、取締を十分にし、兼ねて一般の公益を目的とする職業紹介所との間の連絡を執らしむることが必要である。そこで職業紹介法の立前としては、此等の營利を目的とする職業紹介所並びに手數料を徴する職業紹介所は、別に內務大臣の命令を以て其の監督規定や取締規定を設けることになつて居る。然らば如何なる方法を以て此等のものを監督し取締る乎、如何なる方法に依つ此等の營利的職業紹介所と公益的職業紹介所との間の連絡を保たしむる乎と言ふに其等の點に就いては別に大いに攷究を要する事であると思ふ。

都會生活の眞相

小川圖南

都會の生活の特異なる現象は居住者の大多數が皆諸方よりの寄合ひ者たる點に在り。東京、大阪の實例によるも、入寄留者は本籍者に比して遙に多く、本籍者中にも地方人少からざるは統計の示す所にして、又公

知の事實なり。伯林を始め獨逸諸市の統計は大都の入寄留者中にも五年未滿のもの最も多數を占むることを示せり。我國には此種の統計を缺如するも日本の都市にも五年未滿の來住者多かるべきは蓋し想像に難からず。經濟學の大家ウヰルヘルムロッセル曰く、人口の疎なると密なるとの相違を除けば、都會は多くの點に於て植民地に酷似すと。至言と言ふべし。東京の人口は震災前三百餘萬と稱せられたれど、其うち神田、玉川の上水にて產湯を使へるもの幾許かある。恐らく全人口の三分の一にも足らざるべし。此の關係たるや大阪にしても京都にしても同じことなり。這箇の事實は都會生活に如何なる影響を與ふべきか。要するに極端なる利己主義と個人主義とをして滿都到る處に猛威を逞うせしむるに過ぎず。

都會の住民はもと其の土地の歷史と何等因緣を有するものにあらず、唯だ衣食射利の爲めに偶々來りて此處に居を卜し家を構ふるものなるが故に、自己一身の利害と眼前の得失にのみ着眼して殆ど他を顧みることなく、從つて愛市の觀念、公共の精神の如きは之れを何處にも求むることを得ず。殊に田舍と異りて都民の居住する家屋も多くは自己のものにあらざるを以て、家主と借家人とは利害相反し、家を貸すものは屋漏り壁潰ゆれども修復せず、借る者は肆に障壁を汚損し、墻は狗の穿つに任せ、厨は鼠の暴るゝに委せて顧みずまた壁一重隔てゝ住する隣人の何處の人にして如何なる人なるかをも審かにせざるが故に、恰も汽車の集合客の如く、互に何等の親和的結合あることなく、寧ろ嫉視して警戒を怠るなからんとす。チャールスピアソン曰く、葬式の時以外に顏出せざる都市の隣人に何の親みありやと、眞に然り。加ふるに遠く父母の鄉國を辭して都市に來住するものは、鄉黨親戚の關係の顧念すべきものなく、功利の念日に熾にして生活の苦難身に迫る急なるものあり。其の結果、搦すべき温情の次第に銷磨して、人は人なり我は我なり、一毫を損てゝも他人を利するものかはと言ふ如き極端の利己心と極端の個人主義のみ日に增長し行くは自然の數なり。見

よ、一木片の車より辷り落つるや、街道に嬉遊する群童が之を得んとして爭奪喧鬪するは都會の常態にあらずや。斯る事情の下に競爭と不和との生ぜざらんことを欲するも豈それ得べけんや。殊に都會には心に許す友も少く、タトヒ之あるも職務、住宅等の相隔たる關係より朝夕省問して慰藉するを許さゞる場合多く、且經濟上の事情の益々家庭の組織を困難ならしめ、其の謂ゆる家庭と稱するものも單に睡眠の場所たるに止まるの觀なき能はざらしむ。其間何の友情かあらん、何の温味かあらん。希臘の哲人は言へり都會は寂寞なりと。都市の裡に棲息して朝夕親みなき寄合人の間に伍するもの何人か寂寞の嘆なからんや。

カールマルクスの言へるが如く人間間の歷史は實に階級爭鬪の歷史なり。昔は種族と種族と爭鬪し、君主と法王と爭鬪し、帝王、貴族、僧侶、人民互に爭鬪せり。然るに今や國際間は兎に角、文明國に於ては國内到るところ爭鬪は資本家對勞働者の爭鬪に變じ、若くは變ぜんとしつゝあり。卽ち一方に於ては資本家は資本と稱する銳利強大の武器を以て勞働者に臨むに對し、勞働者は法律の與へたる同等の權利及び人格と更に恐るべき多衆の力を以て之に對抗し、若くは對抗せんとしつゝあり。而して此の社會的爭鬪の最も激烈に行はるべき戰場は何處なりやと言へば、都市殊に工業の中心たる大都市を措きて他に之ある事なし。蓋し都會の空氣は人間の爭鬪心を挑發して敵對行爲を衝激するに最も適したるものなればなり。凡そ人は不可思議なる自然の現象に對して恐怖の心を懷き、その助を藉らんと欲するものなれども、人間に對しては寧ろ爭鬪と競爭の念を感ずるものなり。卽ち人の前には自然は犯す可らざる權威なれども人は餘りに普通平凡にして何等驚異の念を喚起することなし。故に日夜人のみを見て自然に接することなき都會住民の頭腦には、彼も人なり、我も人なり、彼れ取って以て代るべく、彼れ戰って克服すべしと言ふ觀念のみ獨り昂進するを常とす況んや彼は我の有せざる幾多の財と寶とを有するをや。其の結果都市住民の間には競爭の精神絕ゆることな

く、敵對的感情は時を經るに從つて益々激烈ならんとしつゝあり。加ふるに近代の極端なる個人主義と唯物主義とを以てし、双互の間に何等情味の掬すべきもの無きにおいて、亂焉ぞ生ぜざらん。況んや所有權は泥棒なり、資本は企業家が勞働者の手に歸すべき割前を横領せる結果なり、と言ふ如き教義と思想とが學者講演又は煽動家の言論に由りて次第に勞働者の腦裡に浸潤し行くものあるをや。文明の大都が社會的爭鬪の巷と化し勞働問題の中心たるに至るも亦宜なりと謂ふべし。一國の工業益々發達し、勞働者の數益々增加し勞働者の智識益々進むに從ひて爭鬪的氣分は益々熾烈となり、大都の空氣の益々險惡となり行くべきは自然の數なり。今や我國にも社會的爭鬪の怒濤は押寄せ來れり。爲政家も資本家も恐るべき階級爭鬪の慘禍より免れんと欲せば機を未然に察して豫め之に具ふる所なくして可ならんや。都會は固より人間活動の舞臺にして休息靜養の場所を以て見るべきものにあらず。されど人を長く此の喧騷擾々の裡に置きて慰安と休息と而して光明ある希望とを具ふるなきに於ては、鬱屈せる不平と怨恨とは遂に勃發して如何なる慘害を社會民人に及ぼすに至るや亦未だ知るべからず。爰においてか都市の住民に自然の美と愛とを巧みに攝理して安息慰安の清福に浴せしむる必要あり、而して是れ現代の社會政策の根本義なり。

農村の生活には三箇の特質ありて他と區別す。即ち休息と沈默と而して自然の美之なり。而して此の三者は互に相調和し互に相結合して人類に忍耐と自信と誠實と沈着と平和と幸福とを與ふるものなり。然るに都市の生活は如何、休息と沈默と美とは之を何處にか求むべき。煌々たるイルミネーションや燦然たる店頭のショーウインドーは美と言へば美ならんも、是れ人間の虚榮を煽り華美を飾る所の美にして、悠々たる天地の美とは全く其趣を異にす。加ふるに滿都數萬の人民は朝三暮四の營みに忙しく、蠅頭蝸角の利を逐ふに急にして少時も安靜あることなく、街道には車走り、馬驅り、物賣り歩く商人の賣聲さへも喧しきに、自動車

電車、車、自轉車のケタ、マしき音と丁々轟々たる鐵槌又は機械の響とは、人の神經を興奮せしめ、精神を緊張せしめて、一瞬時も安泰の暇なからしむ。目まぐるしきこと實に此上もなし。何の沈默かあらん、又何の休息かあらん。實に都會の生活は極めて不定にして又極めて不安なり。

試みに都會に居住するものを見よ。彼等は卒然として何處よりか來り、幸にして經濟學者の謂ゆる投機的移住に成功すれば、此處に永住の計を爲すべきも然らざれば又々卒然として何處にか去る。遷徙の方なき浮萃轉蓬と何の選ぶ所かある。都下に棲居するものと雖も何等恒久的意義ある生活を爲すにあらず、只遑々として塵土の裡に彷徨し、營々として麵麭の爲めに勞苦し、目的もなく、理想もなく、刻々移り行く現在の儚なき影を追ふて僅に其日を送るもの滔々皆然り。吾人をして」チナルドブレーの言を藉りて之を言はしめよ「都會の兒童の市街に戯遊するや、彼は今甲の車に尾行すると見る間に忽ち乙の車に去り、暫く零れたる石炭を集め居ると心付きし間に、軈て屠牛場に急ぐ牛群を看守り、今喧嘩の人集に走せ寄ると思へば、次の瞬間には街道の杜に上りて行人を漫罵す。或は歩み、或は走せ、時に笑ひ、時に叫び、何處を當てともなく大道を足の向ふがまゝに東奔西走す。往くべき目的地あるにあらず。横ぎるべき特殊の路あるにあらず。終るべき一定の業務あるにあらず。從つて達すべき目的あることなし」と。是れ單に兒童戯遊の光景に過ぎざるも都人の不定なる全生涯は之に由りて説明し得べし。是れ豈に都會生活の活畫にあらずして何ぞや。而して此の轉變極まりなき都市の生活狀態は人心に大なる影響を及ぼし、都人士を擧げて遂に炎涼勢利の輕薄才子たるに至らしめんとす。蓋し都會の無意義にして煩瑣なる生活は崇高の思想、剛健の意思乃至は勇氣、努力自信、耐忍、克己、誠實等人生の成功に缺くべからざる資質を培養するに適せざると共に、絕ねざる外圍の變化に對し之を境遇に適應せしむるの必要上、唯敏捷以て事に處するの才氣のみを養成し、都下の年少を驅

つて利に靡く婉轉自在の人たるに終らしむればなり。都會の地古來人材を出さず、英雄豪傑の士多く草澤の間より崛起するは、畢竟如上の理由に外ならず。人に貴ぶべく事に臨んで必要なるは燃ゆるが如き意氣と情熱のみ。輕浮に流れ氣骨を缺き重利法の計算にのみ巧なる都市の輕薄輩それ何する者ぞ。

ロッセルが都會殊に大都を以て沙漠に比し、群衆心意の去來する狀は恰も砂漠の颶風に遭ひ忽ち集まりて丘陵を爲し忽ち散じて平坦に復する如く、不定不安此上なしと言へるは眞なり。而して大都には智識手腕ありて世に容れられず轗軻不遇を嘆ずる不平分子も多く、不逞無賴の徒の都下に浮游棲伏するもの亦尠しとせざるを以て、過激の言論日に漸く旺となり、往々にして不穩の陰謀を企圖するものを生ずるも亦自然の勢ひなり。彼の無政府主義と稱するが如き極端の思想の大都に發生するも畢竟之が爲にして、大都の警察の漸次益々困難を感じつゝあるも亦之れが爲に外ならず。されど大都には之と對峙關聯して更に一層大なる不平の存するあり。貧富の懸隔より生ずる不平即ち之なり。此の不平より生ずる諸種の社會問題は、現に我國にも近來益々その色彩を濃厚にし、都會に於て殊に其の甚だしきものあるは、事實の歷然たる所なり。思想の惡化も主として之より生ず。此の問題を解決せずして國民思想の善導を圖らんとするも豈それ得べけんや。社會政策なるかな、社會政策なるかな、都市の混濁を清め、都市の蕪雜を正し、都市の物質主義を排し、而して都會住民の荒める心身を救ふものは社會政策を措いて他に之あるなし。

消費組合と販賣組合

山口巖

生産と消費との間の距離を短縮することは、物價を低廉ならしむる所以であると同時に、生活改善の一手段であつて、社會問題の一として特に考慮を要する事柄である。其の手段としては公設市場、消費組合、販賣組合などの施設であるが、玆には消費組合と販賣組合について述べやう。

ウイリヤム●マクスウエルの「蘇克蘭に於ける組合運動史」を見ると、此の消費者組合の事が書いてある此の組合がどうして出來たかと云ふに、當時の勞働者が生活難に陷つた結果、其の原因を考へたところ、それが二方面から來る事を直覺した、卽ち一方は傭主製造家であり、地方は日用品を賣る商人である。傭主に對してのものはトレード●ユニオンとなり、商人に對してはそれが消費者組合の形式となつたのである。同書に依れば此の種の試みが初まつてから十九世紀の終りまでに約百餘の多き消費組合が出來たとの事である其の嚆矢は一七六五年にフエンウイックと云ふ蘇克蘭の一小村で初まつた運動である。其の以前のものは記錄が無い。これは小數の貧しい機械工等の設けた組合で、唯之に依つて幾ペンニーが康く物を買ひ、其れ丈け自分達の乏しい賃銀の購買力を增さう、といふ以外に太した目的は無かつた。

私は玆に此のマクスウエル氏が引用した此の組合の記錄の一節を轉載して消費組合の發芽に對しての敬意を拂ひたい。それは「一七六九年十二月九日、此日を以て本組合員一同は其の僅かな貯蓄の中から相當の支出を爲し、以て本組合員に廉價で販賣するのに必要を認める食料品を購入しやうとするのである。而して本

組合幹事は其の目的に必要と思ふ丈けの金子を起債するの權利を獲得した。又借用する金錢の利子を支拂ひ吾人の取引する食料品の購入及び販賣を爲す者に對し報酬としての賃銀を支拂つた。其の販賣及び買入れの上の損失及び利益は本組合員自體の損失及び利益となるものである。若し本組合員で食料品を受取り、[illegible]から要求するも其の要求の日から四週間以上その代金を滯納し、他の處から食料品を買ひ、そして本組合の食料品代價を未濟の儘で打棄て置くものがあつたら、本組合は當人及び其の家族に對し本組合の食料品を要求する權利を停止する」云々といふのであつて、漸次その事業の步を進めた。

これと性質は異るが矢張り同じ組合的のものが一七九五年に英國のハルに出來た。之れは例年にない不作の爲めに小麥の値段が頗る高くなつたので同市の貧しい住民に依つて企てられた一の運動である。然し之等は未だ後世に對して消費組合の典型として指示すべき程のものでない。言はゞ卵の樣なものだ。そこで私は茲に其の代表的たるロッチデールの組合に就いて一言したい。私はソンニクセン氏のロンスユーマーズ・コオペレーションに依つて此のロッチデールの事を述べる事とする。

時は一八四三年の初冬であつた。英國北部のロッチデーといふ町の機械工共は相集まつて其の境遇の改善方法を講究し初めた。實はその頃に此の町のフランネル工場にストライキが起つて、次いでロックアウトが行はれ、全體的失業の不幸を見るに至つた。彼等は境遇改善の手段として勞働者の團結を爲すことは太して見込があるとも思はなかつた。これは從來の經驗から割出して見ても團結によつて別に賃銀增加の機會が殖ゑると云ふわけにも行かなかつたからである。然し茲で若し他の方法があるならば試みてもよいと考へたのである。卽ち組合經營の店舖を開いて生活費を減ずるときは賃銀を增加したと殆んど同樣の結果が得られるからである。數年前に此の町にも組合經營の店が一つあつたがそれは不幸にして遂に失敗してしまつた。然

るに今復た彼等は更に進んで之れを試みやうと云ふことになつたのである。

之れより少し以前彼の空想的社會主義者として知られたロバート・オーエンの弟子にジエーコブ・ホリオークといふ人があつた。此の人はオーエン等を初め當時の先輩が生産に就いて多大の注視を拂つて居る時に組合店舗の事に就いて注目して居たので、此の町で講演をしたり、組合店舗の實行を勸誘して廻つた。前記の機械工等は此の思想に共鳴した。斯くて彼等は相語つて二十八名の同志を得たのである。各自は銘々に一磅を創立資金として持出し之れを元費に雜貨店を開いた。此の金は數回分納にして一週間當り數片づゝ納めさせたが、終に二十八磅に達し、今日現在有名になつて居る組合店をトード・レーンの裏通りに開いた。そして會員は各自交代で販賣方を勤めた。店は夜間のみ開いて居た。

此の開店の有樣に關してはホリオーク氏の名著「ロッチデール開拓者の歷史」の中に詳しく手に取る樣に詳述してある。時は一八四四年十二月の去る暗い晚「老織物工の店舗」は開かれた。ロッチデールの街童の偸笑嘲罵を物好きに見に來た商人の冷笑と通りすがりの町人の冷評との裡に裏通りなる路面の一商店の扉はしづ〳〵と開かれた。窓の中には麥粉、牛酪、砂糖及びオートミールの極少量が見出されたのであつた。最初は土曜と月曜の晚だけに開店され、一人の組合員は販賣掛、他の一人は書記として働き、第三の者は一週二磅の賣上に對して出納掛、第四の者は二十八磅の資本に對して會計掛といふ堂々たる肩書を有し、他の殘餘の二十四人の組合員は評議員、理事、持分主、宣傳掛並に唯一の顧客と云ふ種々の資格を兼ね有した譯である。當時社會主義者で講師であつたホリオーク氏はロッチデール消費組合の起源をフランネル織物工の同盟罷工の失敗と此等の職工組合員に對し産業上の自由を獲得する手段として職工組合的壓迫の代りに組合的企業を提議したロバート・オーエンの教を奉ずる社會主義者の感化とに歸して居る。

ロッチデールの率先者は一八四四年に其の事業を開始した。當時は前述した樣に多大の嘲笑の的となつて居たのである。資本も僅に百弗餘りに過ぎなかつた。然るに一箇年間に約三千五百弗の取引をした。十年後には初めの二十八人組は約一千人に殖ゑ其の一箇年の取引高は十萬弗以上になつた。斯くて一八五九年には組合員總數約三千に達し年々の取引は五千萬弗以上に達したのである。斯くて消費組合は英國及び歐洲諸國で盛大になつて往つたのである。抑も消費組合とは多數消費者が共同してその消費する所の貨物就中日用品を購買する爲めの團結である。蓋し個々の消費者、殊に資本の小さい中流以下の消費者、換言すれば自己の勤勞の報酬に依つて自己の欲望充足をなさねばならぬ階級の人々が日用の消費物を附近の小賣商人から小量づゝ購買する時は、生産又は輸入の後、幾回も中間商人の手を經るが故に、其の價格が甚だ高い許りでなく一般消費者は商品學に暗く品質の鑑識の明が無い處から劣等品を賣りつけられるのが普通である。然るに今此等多數の消費者が共同して多量の購買を爲すときは、直接に製造者、卸賣商人、輸入商等から廉價で購買することが出來る。而して斯くの如き多量の購買者に對しては製造業者、商人等は特に自己の利益の存續を希望するが故に、價格、品質、代金、支拂期限、物品の運送及び引渡等の販賣條件に就いて自己の信用を落さない樣に留意する、隨つて購買者は其れ丈の利益を得るのである。

從來小賣相場なるものは需要供給の原則以外に消費者の商品及び市場組織に對する智識の不充分な處から常に中間商業者の生活安定進んでは欲望の充足を基礎として居たのである。之れは小賣商人が惡いと云ふよりも寧ろ現代資本主義の本領が玆でも發揮せられて居ると見るべきであるかも知れない。此の點から論ずるならば、彼等が一錢でもより多くの利益を上げんとする事、卽ち最高の利潤が獲得せんとする事は、之を資本主義的經濟學より論ずれば頗る正當の事であつて何等非議すべき餘地はない。然し經濟的見地より正當視

せられる利益も之れを道德的見地若くは社會主義的經濟學上より論ずれば多大の論難を加へられるのである消費組合が必要視せられ是認視せられ又その發達が顯著となつて來たのは即ち此の故である。そこで之より消費組合の成立條件と其の經營に關して二三留意すべき點を擧げて見やう。

消費組合の成立に就いて第一に留意すべき點は、各人が其の消費生活を改善する爲めに組成したものであると云ふ事、それから誠實熱心な事務的能力のある組合員を理事者とする事である。組合として最も重要な勉めは其の購買を最も有利に爲す事であるが此の爲めに理事者は充分な商業的智識と手腕とを備へなければならない。第二に重要な一事は現金拂を斷行する事である。這に流通資本の回轉を敏速ならしめる必要にも基くが、實は組合員の利便の爲めに行ふのであつて、現に歐洲諸國においても消費組合の必要が消費信用に依つて生ずる消費者の不利を除くことを重大な目的としたと言はれる位である。苟くも吾人の消費生活の改善を爲さんと欲するものは目前の安易利便な「掛買」「通帳」制度等の消費信用を除外する樣に成るべく努力する必要がある。更に第三は組合員自ら組合に行つて購買を爲す事である。最後に注意すべきは消費組合は多數消費者の集合して居る土地でなくては成立困難であると云ふ事である。

次に消費組合經營上如何なる注意を要すべきかと言へば、消費組合そのものが前述したるが如く消費生活の改善を主眼として居るのであるから、其の取扱ふ貨物は日用品を主とし奢侈品、裝飾品等は成るべく之を避く可きである。消費組合は組合員の利益を目的として居るのであるから、日用品等一般の需要のある貨物を主として取扱ふは其の成立の主旨に添ふものであり、同種類の貨物を多量過不及なく仕入れる時は自ら其處に利益も生ずるのである。猶ほ組合が貨物を組合員に販賣するのに實費辨償主義に依らず市價主義又は折衷主義を採つて其の利益を組合員に分配すると云ふ方法もあるが茲には之を略する。

消費組合は消費者の自衞的生活機關であるが、販賣組合は生産者が直接自ら其の生産物を市場に提供する機關であつて、此の二ツの機關が相待つて能く其の機能を發揮すれば、生産と消費との間の距離は大いに短縮され、物價は低廉となり、それ丈け社會生活が樂になるのである。私は消費組合のことを餘り長く書いたから販賣組合のことは其の要點だけをザッと解り易く述べることにする。

吾國で販賣組合と言ふのは産業組合法によりて組合員の生産したものに加工し又は加工しなくて賣却する事を目的として設立せられたものである。生産者が販賣組合を設けるときは如何なる利益があるかと言へば第一には販賣上の費用を節約する事が出來、第二には品質の統一を圖り且つ組合員が技術の錬磨をなす事が出來、第三には中間商人の手を省略するを以て其の利益が多い事である。各小生産者個々では到底大規模の需要に應ずる事が出來ないから、販賣組合といふ團體を組織して廣く需要に應ぜんとするのであつて、之を設くれば運搬上、包裝上、種々の便益がある。概言すれば生産物の販路を擴大する事が出來、運搬上の費用を節約し中間商人を省略するを以て販賣價格を低廉ならしめ、中間商人の仲介を要する時よりも遙かに利益が多いのである。尙ほ此の販賣組合は生産者を利すると共に消費者をも利するのである。

販賣組合は十九世紀の中葉獨逸に現れたもので爾來各國に普及した。今でも盛んなのは獨逸である。但し獨逸に於ても農業者の組合の方が好成績であつて、殊に古くから最も發達したものは牛乳の搾取組合である松崎學士の販賣組合に就ての論文の中にも種々その事が記されてある。同學士は獨逸の牛乳搾取組合を吾國の生糸業者間の販賣組合と大いに趣を同じうせるものであると說かれて居る。傾聽すべき意見である。販賣組合の内には、獨逸の穀物販賣組合のやうに、時の政府より低利資金の貸下を受けて穀物倉庫を建築したり軍隊に對する穀物供給の獨占權を與へられたりして、爲政者からも保護されたものもある。之れは穀物の投

機的賣買を排斥して穀價の極端なる下落を防止せんが爲めに一八九五年に東北獨逸の農業者が組織したものである。販賣組合の必要且有利なることは斯くして認められたのである。

吾國に於ては純粹の販賣組合としてはないが其の機能の一部を行はんとしたものはある。米價の下落を招徠したとき全國の農會が一致して石三十五圓下では賣らぬと決議した彼の不賣同盟の如きは之れに似たものである。凡て斯の如き組合は小生産者の利益を保護する爲めに設立せられるのであるが、前述の如く同時に消費者の利益ともなるのであつて、複雜な現代の經濟組織と生活狀態を改善するがためには是非とも必要な機關である。消費組合と販賣組合とは吾人の消費生活上必要な機關である。

少年の保護並に敎化（一）

京日旅順支局長 池内勝里

少年は云ふまでもなく第二の國民であり、國民の核心である、從つて其の素質の善惡は國家の盛衰消長に至大の關係を有する。是れ現時文明諸國が相競ふて少年の保護施設に腐心する所以である。然るに社會組織が漸次複雜となるに伴ふて、人々は生存競爭に忙殺せられ、兒童少年の保護指導を等閑に附するの結果不良性を帶びた少年少女が增加するので、今日では國家自ら率先して之が豫防並びに救濟に全力を傾注してゐる我國が少年法を發布し少年審判所を設けたのは極めて最近であつて、而も僅かに東京と大坂の二都市のみに實施したのに過ぎないが、獨逸の少年裁判所數は二百十數箇所もあつて、之れに比すれば、尙甚だ幼稚である。曾て私は本誌において不良青少年のことに就き論述したが、更に（a）少年保護制度、（b）少年保護機關

(c)少年犯罪豫防、(d)少年職業と犯罪の關係、(e)不良少年、(f)不良少年の長所、(g)少年監獄と感化院、(h)我國少年法及び少年審判所等について論述して見たいのである。

(A)少年保護制度

一體少年少女とは幾何の期間を指すかといふと、之れを科學的分類に從へば滿十歲から滿十五歲までの間を云ふのであるが、我國の少年法によれば十八歲未滿を以て其の最高限として ゐる。凡そ少年は大人と異なり、特殊の世界、夢の國を有するので、其の意思、其の感情何れも單純且不完全であるから、家庭及び學校に於ては勿論、社會に於ても之を補導誘掖する必要がある。

此の如く少年は大人と全く異なれる環境にあるものであるから、之に對して特別の保護を加へ、監督、指導、敎化を怠つてはならぬ。時に犯罪するやうな事があつても大人と一律に取扱ふことは絕對に之れを避けなければならぬ。要するに一方に於ては懲戒し、他方に於ては感化し、懲肅懷柔常にその宜しきを制することが必要である。是れ少年に特別の保護制度が設けらるゝ所以である。

(B)少年保護機關

現今歐米各國で少年保護事業の最も進んだ國は獨逸であつて其のうち規模の大にして內容の充實せるものは伯林市の少年局である。これは一千九百十九年に設立せられたもので、滿十八歲までの貧困兒竝びに危險に瀕せる兒童を專門的に敎養し、體育上、精神上及び風儀上完全なる發達をなさしむるを目的とし、其の內容は保育課、保護課、孤兒課、後見課に分類せられ、又その各課に管理者會なるものが設けられ、整然たる組織の下に兒童保育の充實完備を期してゐる。同市では尙之を以て足れりとせず、更らに市內を十四區に分ち、その各區每にそれ〴〵少年部を設けて居る。

蓋し少年の保護は十九世紀の後期に於ける刑事政策及び社會政策の要求に基くものである。不良性を有する少年を保護する事なくして之を放任したならば、道德的の墮落と共に遂に犯罪するに至ることは事實の明

かに立證するところで、斯くの如きは獨り社會の損失であるのみならず、本人の不幸之より大なるものないのであるから、其の墮落に先だち積極的に保護教化の道を講ぜねばならぬ。是れ刑事政策であると同時に現今に於ける社會政策の精神とする所である。既に社會政策である以上、社會の凡ての人々は、直接間接に本事業に對して援助することを忘れてはならぬ。誰しも自分の子供が完全に成育することを望まぬものはない子供を完全に養育することは、やがて之を善良なる人間として社會に送り出し、國家社會のために貢献せしむる事であるから、少年の保護は國家及び社會のために各人の當然負擔せねばならぬ義務である。換言すれば少年の保護は社會連帶の精神を以て行はなければならぬものである。

(C) 少年犯罪豫防と教化

刑罰は罪を犯したる特定人に對し犯罪性の鎭壓と同時に其將來を戒むる爲めに課せらるゝものであるが、進歩したる現代の科學は刑罰以外に幾多の豫防施設を講じて其の效果を擧げてゐる。少年に對するものも其の一である。刑罰に代るべき保護教育（Fursorgerzichung）なるものは、則ち此の趣旨に則つたもので、各國とも之によつて少年保護の目的を達せんと大いに努力してゐる。少年の保護は少年の善導が眼目である。此の手段は成るべく早期に於て之を實施すべきであつて、犯罪の素因を作る時代、卽ち幼年期には最も注意を要するのであるから、父母たるものは兒童の訓育に不利な影響を及ぼすべき一切の行爲を愼み、常にその家庭を淸く正しくする事を怠つてはならぬ。北米では兒童の扶養を怠り兒童に不良な感化を與へて顧みないものを處罰する法律さへ設けられてある。

次に小學校は家庭に次いで兒童の少年期を支配する力を有するから學校では努めて兒童の道義心を涵養せなければならぬ。彼のペスタロッチーが管理せる孤兒學校の如きは、學童に彼自身の愛と同情とを注入するに努めたが、彼は斯くして自ら兒童の父たり母たり又教師であつたのだ。現今の教師が動もすれば機械的に

兒童を取扱ふため此間少しも人格的人情的でないのに比して霄壤の差がある。

第二に注意すべきは住居及び其の附近の事で、之は少年の訓育上頗る重要な問題であるが、然し職業上、經濟上、其他の理由によつて之を理想的にするのは容易な業でない。そこで先進國では夙にセットルメントウォーク卽ち隣周敎化事業を興し、少年の閑暇期を有益に利用して居る。彼の米國シカゴ市に於ける下町少年倶樂部（The Dontown Chicago Boys）の如きは數千の會員を有して居るとの事である。更らに重要なのは公園、遊步地、運動場、娛樂場等の設備である。之は主として遊戲娛樂の間に少年を善導せんとするものであつて最も有效なる方法である。然し玆に注意すべきは監督及び指導の事である。監督と指導の缺けた遊戲娛樂は放縱に失して寧ろ少年の天性を汚すことになるかも知れない。

最後に尙ほ注意を要することはアルコールの問題である。酒精は人も知る如く秩序的精神作用を痳痺せしむるのみならず、性慾を衝動し、其他種々なる罪惡的色彩を曝露し、子女に惡影響を及ぼし、其の墮落を誘致する原因となる場合が多い。過度の飮酒は往々その子孫に精神病者又は不具癈疾者を出す素因となる。醫學上之れは旣に爭はれぬ事實であるから充分戒心しなければならぬのである。

其他少年勞働改良問題等も直接若くは間接に少年犯罪の豫防に密接の關係を有つてゐる。此の必要を充たす爲めに社會一般の覺醒を必要とすること勿論であるが、寺院、諸種の保護團體竝に官公署等が協同一致して組織的に之に當り、思想の善導と共に事業の實行に鋭意せんことを望まざるを得ない。

× ×

現代の社會相

◉何事も科學的、組織的、規則的機械的となつた爲め現代は人間と人間との間における情味の露はれが甚だ薄くなつた◉昔の寺子屋敎育は極めて單純なものだつたがそれ丈け先生と弟子との間には温かい人情が通ひ活きた先生の人格がヨリ多く子弟を感化した◉然るに現代の敎育は敎育制度といふ組織の下に行はるゝ爲め敎師と學生との關係は物質たる書籍や講堂の上に繋がれて居るばかりで頓と人情味が薄い◉家主と借家人との關係も金錢で家屋を貸借して居るといふに過ぎない狀態で往昔の所謂おほ屋と店子との間におけるが如き人情味は見られなくなつた◉商店でもさうだ昔の主人と番頭、丁稚又は小僧との間柄には人情味があつて永年の間まじめに勤續すれば暖簾を分けると云つて別に店を持たせたものだが◉今日の商店における主人と店員とは雇人被雇人といふ關係だけで給料でもつて僅に此間を繋いで居るに過ぎない◉會社や銀行の狀態も同樣で人的關係よりも物的關係に重きを措くので人情味が薄い◉最も甚だしいのは工場における資本家若くは事業主と勞働者との關係で之れは殆ど全く勞働賃銀といふ物件で繋がれて居るのだから頗る冷かだ◉總べてが科學的、組織的、規則的、機械的となつた結果は人と人との關係が活きた人情で繋がれなくなつて死んだ物質によつて繋がれて居るに過ぎない◉謂ゆる物質文明の弊は此間に生ずるのであつて之がために種々の爭議や紛擾や悶着葛藤が絶間なく起るのである◉資本家若くは事業主に對抗する手段としての勞働者の同盟罷業が許される樣になつたのは已むを得ないが斯うして世の中が殺伐的になるのは喜ふべき事ぢやない◉人間の利己心は之がために熾烈となり人心は彌が上にも荒み行き社會は殺風景となる◉そこで之を救ふ手段として人事相談所や種々の調停機關を設け更に勞働爭議調停法、借地借家爭議調停法、和議法、民事及び商事の一般的調停法などを實施することが必要となつて來た◉今日の社會問題は深く此點に注意を加へて荒み行く人心を和らげ熾烈となれる利己心を制する事に努めなくてはならぬ◉社會が複雜になり人事が多岐になれば成るほど一方において能ふだけ紛議や爭鬪を少くする方法を講じ人心の和平を圖ることに全力を注ぐべきである。

救世軍の由來と其の事業

在東京　下澁谷生



一、救世軍の創立

救世軍が創立せられたのは西暦一千八百六十五年であつた。卽ち日本の慶應元年である。初め基督敎傳道會と稱してゐた。創立者ウイリアム●ブーヌ大將はメソヂスト派の傳道者であつたが、罪と禍とに惱む人々の有樣を見るに見兼ね、如何かして彼等を救はんものをと、遂に孤立となつて傳道を開始するに至り、それが此の基督敎傳道會となつたのであるつまり最も實際的に最も力強く人々の心靈と肉體との福音を圖らんとしたものに外ならぬ。

後それを救世軍と稱するに至つた譯は、或時年報を編纂しやうとて、ウイリアム●ブースと彼の長子ブラムエルと同志レイルトンとが相寄り、レイルトンが机に向つてウイリアム●ブーヌが口授する所を筆記し、ブラムエルは傍にあつて聽いてゐたが、折柄英國に義勇兵運動が起り、盛んに噂の種となつてゐた際とて、ウイリアム●ブースはそれらの事を聯想しつゝ、次第に口授の步を進めて「基督敎傳道會はAvolunteer Army（義勇軍）である」といふ一句に至ると、傍で聽いてゐたブラムエルが口を出し「私は常備軍である、その以外の何者でもない」と言ふや、ウイリアム●ブースは成程と頷き、暫し思案を凝らした後、やがてレイルトンの肩の上から手を伸し、今書いたばかりの「義勇」をいふ文字を抹殺して、代りに「救世」といふ文字を書き込んだ。それで前の文句は「基督敎傳道會は卽ち The Salvation Army（救世軍）である」と云ふことになり、それを讀み上げると、何れも喜色滿面に溢れ好名稱を與へ

られたことを躍り上つて驚喜したのである。

二、救世軍の現況

救世軍の軍旗の飜つてゐる國及び植民地は目下實に七十九箇にて、世界の國々に行き渡り、救世軍の宗教が宣傳せられつゝある國語が五十三、小隊及び分隊の數が一萬三千五百七十七箇所、社會事業が一萬四百三箇所、小學校が一千三十箇所、軍人ホーム及びホテルが三十五箇所、出版物の種類が九十五種に上り、その一年間に於ける發行高が百四十二萬三百部餘である。日本に於ける小隊及び分隊の數は百餘箇にて實際的宗教の宣傳に努めてゐる。

社會事業としては救世軍療養所、救世軍下谷病院釋放者保護事業としては東京に勞作館、大阪に希望館及び女子希望館があり、婦人救護のために東京に婦人ホームあり、大連に婦人及び育兒ホームがある隣保事業は東京の青山、日比谷、芝離宮、上野等の各集團バラックに於て之を行ひ、保育事業は東京の九段、日比谷、芝離宮等に於て之を行ひ、それ〴〵に救世軍保育所がある。また勞働寄宿舍及び無料紹介所が東京の月島と淺草とにある。東京の本所にある社會植民部は保育その他謂ゆる隣保事業を營んでゐる。東京府下中野の療養所は目下增築中であるが其他もそれ〴〵擴張する見込であるさうな。橫濱には新たに勞働寄宿舍が出來掛らうとしてゐる。又伊豫の今治に於ても保育事業を行ひつゝある。九月震災後の震災慰問運動にて救世軍の取扱つた物資は少くとも五十萬圓の價格に上つたさうだ。

三、救世軍の目的

日本に於て救世軍が働きを開始したのは明治二十八年であつた。其の年の七月十四日夜、倫敦のシチー・テムプルに於て日本へ派遣せらるゝ士官連のために盛大なる送別會が營まれたが、其の席上ウイリアム・ブースは士官連に告げて言つた「往いてその人民を愛せよ。それが出來ぬならばよろしく本國に呼び戻されんことを願へ。世界の眼は諸君に注いでゐる。往いて戰ひ、苦しみ、忍び、又屢々涙を流さねばならぬ。而も諸君は直ちにその涙を拭ふて更に人々の中に出て行かねばならぬ」と。

斯くして一行十四人は獨逸船ホーヘンツオーレン號に乘つて其年の九月四日日本の橫濱に到着した。彼

等の着後早々或る新聞記者がその司令官を訪ね「救世軍が日本に於て採るべき今後の運動方針は如何」と問ふた。すると司令官は「それは唯日本人をして日本を救はしめよと云ふ、それのみである」と即座に答へたのであつた。彼等は然うした精神で、努めて外國人らしき感情と態度とを棄て、専ら日本人に適合せしめてその事業を行はんことを心掛け、そのために何れも日本館に入り、日本食を食し、日本建の家屋に住んで働き始めたのであつた。間もなく今の山室大佐が來り投じ、日本人をして日本を救はしめよとの當初の目的を着々實現させつゝある譯である。明治二十八年以來、非常なる困難と戰つて今日に至り、財政上日本は日本に於て自給自營せんと必死になつて働いてゐた所、昨年の大震火災に出逢ひその方面にも大なる打撃を受けたのである。

救世軍本來の目的は人類の福祉を圖ることにある即ち罪と貧と禍とに苦しむ人々に對し、心靈上からも、物質上からも援助したいと願ふのである。ウイリアム・ブース氏は言ふた「救靈事業ならざる社會事業はなく、社會事業ならざる救靈事業はなし」とイエスの宗教を實際的に宣傳すると共に同胞の窮乏を救はんとするのが救世軍の目的である。

米國の低能兒教育

小島靜太郎

低能兒教育は國家社會に取つて有能兒以上に大切なものである。何となれば、謂ゆる低能者には人の意表外に出る殘忍な事をしたり、國家社會に不安を感せしむるやうな犯罪をなしたり、大抵精神的缺陷のあるものが多いからである。乃で文部省に於ても兩三年來、杉田直樹博士の外數名の新進學者に依囑して、醫學上、心理學上、其他の各方面から之れが調査を進め、將來低能兒を教育の力で進化させる方法を創始しやうとして居る。だが邦國では、最近やつと矯正院が出來た位で、此の大切な事を徹底的に

やるやうな立派な施設は無いのである。此種の事は殊に遲れて居る。今文部省で調査したところの米國に於ける其の一斑を紹介して見やう。

世界に於ける低能兒若しくは劣等兒敎育の最初の唱道者は獨逸ライプチッヒのステーッナーで、千八百六十四年彼は己に『低能兒學校創立の企圖』と稱する小冊子を公けにした。越ゐて千八百六十七年にはドレスデンに於て始めてシトイヱルの低能兒敎育が實際に行はれた。合衆國に於ける此種敎育は千八百七十八年のクリーヴランドに於て實施せられたのが其の最初であるから、獨逸に後るゝこと當に約十年である。然し現今の世界に於て、其の施設方法が最も進步し、最も有效に行はれ、從つて亦模範とすべきものは米國の低能兒敎育である。

合衆國に於ける此の敎育上の施設は最も實際的で獨逸のそれの如くアカデミックでなく、直ちに彼等の生活に必要なる事項に就いての會得をなさしむる事を主として居る。近世物質文明の急激に發達したる合衆國にあつては、精神的不具兒童の出生が比較的多く、それが爲め此の敎育に關する多大の費用と研究とを費すの必要を齎らし來つたのである。一口に特殊敎育（低能兒、劣等兒）と云つても之を二個の系統に分つて見なくてはならぬ。一は特設の造營物に於て特殊の敎育を施すもの、卽ち普通合衆國に於て訓練學校と稱するもので、他は公立學校に於て特殊なる學級を設けて該敎育を行ふもの、卽ち普通に特別學級と稱する所のものである。

斯る特殊の敎育施設に於ける經費は、紐育のシラキユス外四個所の施設に於て、收容人員一人當り最高四五一弗、最抵二八二弗で、平均三七一弗である之を我が貨幣の單位に換算すれば凡そ一人の低能兒に要する經常費は七百圓と見ることが出來る。偖て是等の費用に對する經費の出所は、主として州支出金であるが、他の一面において、多少は自活の道が講ぜられる。卽ち該兒童の製產品の賣却代が凡て六七％の支拂ひをなして居るのである。

次に組織及び其の敎育の內容を見るに、各收容所は州立のものであれば、主として州の兒童を收容するが、大體に於て全合衆國の低能兒を收容する。年齡には一般に制限を設けてない。併し獨逸の如く可級的幼年者を收容することは同樣で、最低七歲、最高十六歲である。生徒の入所手續は、父兄若くは學

校の教師が其の兒童の智能に疑はしい點があると思ふ時は、先づ研究實驗室で精神發達を査定して貰ふ若し此の場合兒童を眞に入所せしめるのでなく、假に監督して貰ひたいと云ふ時には、其の兒童を三ヶ月、六ヶ月或は一年の研究觀察に委すことも出來る入所の場合には身體及び精神の詳細なる研究をなすことは勿論である。此の場合においては精神病者、白痴、癲癇、盲啞等は許可しない。

　收容中、其の教育が漸次有效となり、自活を得るに至りし者、或は相當なる監督下にある者に對しては、敢て施設其ものを監督に委するに及ばない。此の場合先づ二つの方法が考へられて居る。其の一は事實に於て社會に働く樣にするものであり、他の一は農業植民又は工業植民制度に依つて半監督半自治の道を取るやうにするのである。此の後者の如き方法は、現在の低能兒保護施設に於て最も多く用ひらるゝ制度で、此の制度は遺傳或は社會惡風の感化を受け、若くはその競爭者の存在のために再び劣等的地位に墮する虞れある場合、最も良き方法と考へられて居る。斯くして此中のものが充分に信用して働き得ることが分れば直ちに解放するやうにする。州立ローム收容所の如きは此の手續により家庭監督作業雇主監督から百五十三名を解放した。

　低能兒教育に用ひられる學科は、感覺練習、音樂體操及び實科（手工、農業等）である。右の內最も大切なるものは實科で感覺練習之に次ぐ。合衆國に於ける三十ヶ所の收容所のうち二十三ヶ所では何れも實科を行つて居る。謂ゆる學級作業である。而してニューヨークに於ける低能兒童八十七%の學科は四年生までゞある。學科時間は平均一時間乃至三時間で一時限りは三十分を普通とする。

　元來低能兒教育は、彼等の生活維持を目的として彼等が將來の生活を保障するやうな教育を授くる事が最も必要で、且最も重大な部分である。實科の重ぜらるゝ理由は實に爰に在る。低能兒は土に親しみ植物を友とし、動物と親しむ。さればそれに課すべき實科は男子は小工業（籠編み、指物、織物の如きもの）、農業、女子には洗濯、編物、刺繡の類である是れ等の作業に就いては言ふ迄もなく兒童の特に秀でた點を利用して行かねばならぬ。

× × × × ×

能率増進の根本問題

野上俊夫

人間と云ふものを研究する學問が進歩しなかつた時代に於ては人間と云ふものゝ共通性を研究して居たのである。卽ち人間としての一般的の事を研究して居た。例へば醫學に於て人間の身體を研究する時多くの場合、人間の身體には背骨があつて、肋骨があつて、上に首があつて、下に足があり、兩胸に手がブラ下がつて居ると云ふ様な、どの人間にも共通な性質を研究して居た。然るに段々と醫學が進んで來るに從つて、共通の部の研究が進んで行くと同時に、人間の個人差と云ふものゝ研究が進んで來ることは當然である。我々の身體の骨は二百何十枚と定つて居るが時には人に依つてこれが多過ぎたり少過ぎたりする例が往々ある。普通は二百何十枚となつて居ても、細かい部分になると、それが違つて來るこれは屍體を解剖してみると分る。

斯うした特別な差違が人々にはあると云ふ事を醫者が段々と發見して來た。この頃は斯う云ふ風な個人差、人間全體として共通な性質は無論あるけれども個人々々にも亦特別な性質があると云ふ事に人々が注意を向ける様になつた。それは骨が一本足らないなどと云ふ極端な例を用ひなくとも一番能く解り易いのは顔である。世界中に十何億と云ふ人間が居るが二人と同じ顔の人はない。卽ち僅な顔と云ふ小さな部分ですら其間の僅な違ひが個人の顔を作つて居る。別に鼻の高さが一寸高い口の長さが五分も違つたと云ふ事はないが、併し鼻が一分高い口の大さが一分違ふと云ふ、その一分一厘一毛の違ひを組合せると特長の顔になる。極小さなものが集まつて其人の個性と個人差と云ふものが出て來る。

顔許りでなく我々の總ての身體及び心の方面にも夫々の個人差はある。同じ人類に屬して居ても、同じ様な筋肉を持つて居ても、そこに色々な違ひがあると云ふ事が、人間と云ふものを研究すれば研究するほど明かになつて來た。そこで心理學が發達して

一般のセネラルサイゴチーと云ふ普通心理學にも進んで、人間の心と云ふものはどう云ふものであるか感情と云ふものはどう云ふものであるか、感覺はこんなもので、意思と云ふものは斯んなものであると云ふ風に教へて居る。これが心理學者の概念で普通心理學と云ふ事になる。然し同じ記憶と云つても記憶の個人差があり感情と云つても感情の個人差があるものだと云ふことが段々解つて來た。

そこで今から十五年この方個人差心理學と云ふものが追々人に考へられる樣になつた。この個人差とは何んなものであるかと云ふと、先づ一番大きな區別が男と女の心理で、これは全然違ふ。此頃の女は何も男と違つた事はない、子供を生むだけが違ふんだと云ふが、これは事實と正反對で、事實は男女の心と云ふものは我々の考へ以上に違つて居る。或は子供の心理と云ふ樣に時期に依つて分けねばならぬ事もあり、或は其の中間に青年の心理を立てなければならぬ樣にもなつて來た。恰も醫學の進歩とそれが餘程似て居る。醫學の方では既に婦人科と云ふものが獨立して、婦人特有の體質に備ふる樣になつて居るが、近頃は更に少年科、老人科といふものが獨立しかけて居る、若返り法と云ふものが發表されたのは老人科と云ふものが段々と人の注意を惹いて來たといふ一つの證據である。更に進むで青年科即ち小兒と大人の間の青年科と云ふものを別けて見なければならないと云ふことになつて其の考へもまた醫者の間に唱へられて居る處である。

斯の如く一方に於ては男女の性で以て別け、一方に於ては人間の年齡に依つて醫學を別ける、と云ふ事が段々と起つて來たのであるが、心理學でも同じ樣に男女の性に於ける心理學卽ち性別心理學が起り一方に於て兒童の心理學、老人の心理學と云ふものに別れて來たが、これに對して最近では青年心理學と云ふものが唱へられる樣になつて來た。此の生理的、心理的の個人差を知り、仍つて以て個人の得手不得手を認め、適材を適處に置くことが能率增進の根本問題である。此の根本問題を閑却して能率增進を圖らんとするが如きは思はざるの甚だしきものである。植物も、動物も、多種に分れ、又その一種の中にも夫々の個別があるから、況して組織の複雜な人間の個人差は千態萬樣である。深く此點を注意して適處に適材を置くべきである。

胡適氏の支那文化談と其の歡迎會

滿洲社會事業研究會と中華青年會とにて

支那の新人として知られてゐる北京大學教授胡適氏が滿鐵社會課主催の夏季大學に講師として來連したので我が滿洲社會事業研究會は中華青年會と提携して七月二十八日大連ヤマトホテルに日華人共同の胡適氏歡迎會を開いた歡迎會の前日本會の一員は胡氏を宿泊所のヤマトホテルに訪ふて支那文化の變遷に就いて尋ねたら氏は斯く語つた。

民國の文化は昔から南支那が中心で其の文化と思想とは時代に依つて逐次變つて來ました西暦紀元三百年から六百年までの間に燕魯山東方面に起つた文化は漸次南遷して南北朝時代には南京に移りましたが唐時代には廣東、浙江、福建、湖南を中心として次第に統一され此間禪宗による宗教的思想が一時殆ど人心を支配しました此の隋唐時代は印度から輸入された佛教が支那の思想界を支配した時でそれが朝鮮を經て貴國（日本）にも向ひ貴國から吉備、眞備、阿部仲麿、其他學者たちが支那に渡來されたことは歴史の上に記されてある事實で勿論御承知の事であると存じます。

次いで宋時代に入り詩が昌んになり西暦紀元一千年乃至一千九百年の間に南支那は全く文化の中心地點となりましたが其後北方に契丹、女眞、蒙古の各民族が崛起し武力を以て支那を征服したにも拘らず南方の文化には何等の影響を及ぼさず其の文化力と思想力とは却つて北方民族を感化し更に明時代の西暦一千三百年から一千六百年までの間には哲學、文學又は稗史小説などが競ひ起り江西浙江、湖南が文化の中心地となりましたが明時代に至つて其の一千六百四十四年乃至一千九百十一年間に江西の文化は亡びましたけれども夫れが浙江、江蘇、安徽の三省に移り次いで更に廣東と湖南とに文化の中心が移動しそして楊子江一帶の地が常に文化の光を輝かして居ました。

此の狀勢は中華民國時代の今日でも大體において

變化なきも泰西文化が海岸線と楊子江流域を傳ふて盛んに輸入されましたので支那の思想界は近來著しく變つて來ました廣東、江蘇、浙江の三省が今日のところ新文化の中心地でありますが商工業の進歩と共に新文化の進歩も顯著であります北方の北京、天津其他の各地にも南支那の學者、政治家、敎育家及び商人等が多數入込んで居ますから支那の文化は自然に融合され思想界もやがて統一されるであらうと思つて居ます。

大要右の如き談話を英語で語つたのであつた胡適氏は當年三十六歳との事であるが其の若々しい顏と支那服を着けた瀟洒たる容姿は何う見ても二十七八か三十そこ〳〵と云ふ所である應待ぶりも話しぶりも極めて謙遜的でそして愛嬌たつぷりで少しも學者臭い所がない他にいゝ氣持を懷かせる。

さて七月二十八日の大連ヤマトホテルに於ける胡適氏歡迎會に出席した日華人諸氏は

日本人側（次第不順）　金子平吉、相生由太郎、立川雲平、牧野虎次、村田懿麿、値賀連、福田顯四郎、佐田弘次郎、難波勝治、金井章次、香山長一、工藤雄助、木部守一、蔦井新助、保々隆矣、上村哲彌、田所耕耘、山田武吉、永田榮藏、此外猶ほ田中喜介、村井啓太郎、立花政樹大來修治、小山内大六、田村羊三、齋藤鑑太郎大内成美、小村俊夫の諸氏出席の筈なりしも當日急に事故生ぜりとの事にて缺席

民國人側（同上）　傅立魚、李子明、劉仙洲、張君度、牛作周、畢乾一、金念曾、王子衡、歐陽鵬、麗義堂、徐聰濤、林心栽、文敬齋、邵飛臣邵愼亭、麗睦堂、汪楚翹、趙晋如、忻耘青、張洪五、曲撲亭、兼內生、福順厚

中央食堂に圓卓を分置し日華人各自之を圍みつゝ快く晩餐を倶にし軈てデサートコースに入るや金子雪齋翁は滿洲社會事業研究會を傅立魚氏は中華青年會を各代表して胡適氏歡迎の辭を述べ夫より保々隆矣、佐田弘次郎、上村哲彌、田所耕耘諸氏の或は日本語或は英語を以てしての歡迎、希望、所感等のテーブルスピーチあり最後に胡適氏は流暢なる英語と民國語とにて極めて謙遜的なる答辭を述べ森瀨氏之を日本語に譯し宴終りて後は中央廣間において主賓胡適氏を圍んで打寛いた談話を交換した日華兩國人が斯くまで一堂の中に會して隔意なき交驩をなしたことは恐らく此會を以て嚆矢とすべく極めて眞摯な極めて趣味に富んだ會合であつた。



米國の敎化的活動寫眞

在東京　一記者

現今米國に在つて劇場以外に於ける活動寫眞を敎化、廣告、宣傳、其他に利用するもの、數は學校、敎會、商店、工場、農村、商業會議所、博物館、監獄、其他各種倶樂部を通じて少くも一萬を下らないであらうと言ふから、其數に於ては劇場數と大なる懸隔は無からう。今便宜上映畫を非劇場物と劇場物とに區別して說明して見ると、此の區別は普通映畫の目的が營利にあると然らざるとに過ぎずして、映畫の相手方たる見物人及び映畫の種類又は質によつては判然し難い。而して此の區別し難い點が兩者の間に爭ひの起る點であつて、學校は生徒が映畫によつて被むる惡感化に對して、敎會は更に之に加へて敎會の會衆が寂れて行くのを遺憾として、猶ほ劇場側では學校映畫、敎會映畫が案外人氣が好くて自分の方の見物人を減ずるのを憾みとして、それ〴〵自家の繩張を守らうとするが如き有樣で、過般シンシナチー市の劇場協會が「爾今演劇映畫は總て既に劇場に於て上演せられたものと其の然らざるものとに拘らず之を非劇場界に供給することに反對す」と云ふ決議をして物議を招いだ例あるが如き、また以て此間の消息を窺ふに足るであらう。

　非劇場界に於て最も盛んに映畫を利用するものは學校であつて、合衆國文部當局の調査として「敎育映畫雜誌」の記する所によれば、全國約一萬の學校中映寫機を有する學校は六千四百餘に上り、此のうち約三千七百二十校までは小學校、殘りの二千六百八十校は中學校、師範學校及びそれ以上の程度の學校ださうだ。學校に亞いで多數なのは敎會であつて確實なる數は明瞭でないが、推測數として傳へらるる所に依れば、每週一回或は隔週に一回等の方法で定期に映畫を利用する敎會數は約一千あり、臨時に映畫を利用するものはそれ以上の數に達するであら

うと云ふ事だ。また活動寫眞を利用する倶樂部、農場、工場、その他各種團體の數に就いては何等の報告が無いが、前記二者に對する割合から推察すれば約一千六百位に達すべしとの事である。

昨年紐育市の一圖書館が全國各都市學校監督官に對して質問した結果によれば、三十四都市中映畫を學校敎育に利用してゐないのは三都市のみで、他は全部之を利用してゐる。「學科敎授に利用せりとせば何學科に利用せるや及び利用に最も適當なる學科」との質問に對する回答を示せば、地理科に利用するものが最多數を占め、之に續ぐは歷史、文學、理科市民學、自然科學、體操及び農業と云ふ順位である次にフイルムは購入するか賃借するかと云ふ質問に對しては、賃借十六、賃借及び購入三、賃借及び無料借入四、購入二、無料借入一と云ふ回答を得たといふ事だが、主として敎育的に使用すると云ふのが一番多く、敎授にと云ふもの娛樂用と云ふもの、又兩方を兼ねてと云ふもの等もあつた。

更に右映畫を利用する爲めに要する經費に關して報告された所によると映寫機を有する學校一千校に對する割合は次の如くである。則ち生徒中より徵收するもの二一%、學校外の見物人より徵收する入場料に依るもの二〇%、洲、郡又は市の公費に依るもの一八%、個人の寄附より成る基金の支辨を得るもの一七%、父兄敎育會、學事改良會、其他各種の學校關係の會より支辨せらるゝもの一七%、個人の醵金に依るもの七%である。又映畫の供給の方法に關する割合は營利會社及び營利的映畫交換所より供給を受くるもの五五%、政府筋その他非營業的團體より供給を受くるもの三六%、各種製造工業會社より供給を受くるもの（産業廣告映畫）九%である。尙ほ各學校の映畫に投入する費用は何れも僅少であつて一箇年五百弗の經費を要する學校は稀有であるが而も學校が映畫を利用することは今や米國全州を通じて頗る旺盛に赴きつゝあるさうだ。

一九二三年二月クリーヴランドに開催せられた國民敎育大會に於ては、活動寫眞が世界文化の發展上多大なる貢獻を爲した事實に鑑み、特に同會議日程中之に關する協議事項を繰入れて專ら關係方面に熱心なる討論を重ね、各種の決議を通過したが、該決議中には活動寫眞展覽會を開催すること、國民敎育大會に活動寫眞敎育部を設置すること等がある。又

近來は有識者間に於て「敎育映畫は人格高尙なる學者、敎育家、宗敎家、藝術家等をして主役者たらしめ、以て映畫を宗敎化し藝術化すべし」と論ぜられ社會の先覺者間に相當の勢力を有し、新運動が此の方面に起るべき機運を助長してゐる。

敎會映畫は上述の如く學校映畫に亞ぎ盛んであるが今日尙ほ反對の態度を執れるものも少くない。然れど其の大勢は漸次映畫利用の方に傾きつゝある模樣で其の種類は說敎の場合と敎會內の社交的會合との二方面に岐れる樣である。ロスアンゼルスに於ける大敎會の一たる第一組合敎會の牧師バットン氏が自己の敎會の情況を報告せる一節に「本敎會が未だ活動寫眞を利用せざりし一九二一年二月中の毎日曜夕の會衆は平均二百四十二人であつたが、映畫を利用せる一九二二年二月中の會衆は一躍して平均一千二百四十四人に上り、前者に比し平均一千人激增し一九二三年の同日には更に增して一千二百六十五人の多數の會衆があつた」と言つてゐる。

以上の事實は活動寫眞が多數の會衆を呼ぶものであることを示してゐるが、此等の會衆が果して宗敎的氣分を保持するや否やの問題は、何人にも懸念せらるゝ所である。之に對し同氏は「此の懸念は全く杞憂に過ぎぬ、會衆中には通りかゝりの若者で從來敎會に出入しなかつた者も少くないが、說敎の後に彼等が歸途に就く時は何れも充分敎會の氣分に浴するのを見受ける、予が敎會のプログラムは先づ型の如くオルガンの前奏曲より始まり、映寫幕には短い祈禱の文句、或は實業界の金言、其他修養に資すべき格言を寫し、次に讃美歌の合唱に入る、此の場合の映寫幕には讃美歌の歌詞を現はし、それが終つて映畫に入るのだが、映畫に現はれる物語は、說敎の代理をする映畫の種類必ずしも宗敎的のものゝみと限らず、廣い意味の敎訓を含む劇的映畫もある、映寫の中途フイルムの入替時間を利用して映畫に現はれた物語の敎訓的主要點を簡單に說明する、說明が終ると直ちに映畫の續きに入る、映寫中は始終パイプオルガンを奏すること劇場に於けると何等の差がない」と說明してゐる。敎會映畫の情況に關しては「敎育映畫雜誌」に載せられた所の左記の記事は更に興味深きものがあるのを覺ゐしめる。

米國西部の一地方にて住民約二百人を算する小村落の敎會に赴任した年少の一牧師があつた。彼が赴

任後第一に氣付いたのは學校へ通ふ少年間に賭博の盛んに行はれてゐる事であつた。彼は先づ教會の役員會に於て、近隣の大都市が誘惑の根元であり、其の影響が村の青少年の氣風を頽廢せしめつゝあることを指摘し、之が救濟の第一歩として教會を開放し善良なる教會映畫を以て年若い者を指導しなければならぬと說破した。そして映畫に要する一切の準備が出來て映寫を始めた所が人氣は回を重ねるに從つて殷盛を極めた。最初は州の大學の映畫運動部より映畫を借入れてゐたが後には營業人たる映畫交換所から賃借することゝした。見物人の多くなるに從ひ田舍の小教會堂では狹隘を告ぐるに至つた。斯くて此の年少牧師は居ながらにして多數の各村民と握手し會談するの機會を得、遂に村民より親しまれ、其の敬慕を受ける樣になつたさうである。

我國勞働委員會の現況

其の盛衰消長と委員會の協議事項

勞働委員會制度は英、獨、佛、伊、米等の諸國に於ては其の成育までに相當長年月の歷史を有し、現今に至り其の發達漸く注目に値ひするものある如くなれども、我國に於て之が重要視せらるゝに至つたのは極めて最近のことに屬する。

抑も我國に於て此の制度の濫觴とも認むべきは兵庫縣下淡路淡陶株式會社並びに鐘ヶ淵紡績株式會社京都支店に於ける施設である。前者は明治三十三年勞働爭議の發生に刺戟せられて組織せられたもので勞資間懇談的に雇傭條件又は福利施設に關する事項を協議するの機關となつて居たが、爾來二十餘年を經て相當の實績を收め、大正十年一月より從來不文の制度をば更めて成文を爲し、以て今日に及んでゐる。後者は明治二十九年職工懲罰委員會として組織せられたもので職工の懲罰事業は必らず職工の互選に成る職工側委員を交へた委員會に於て審査すべき

事となつて居る。其後大正四年福井縣下松文機業工場に於て優良職工を選拔して委員と爲し、企業者側委員と會同せしめ、以て勞資間意志疏通の機關たらしむるに至つたのである。それから大正五年北海道山下鑛業株式會社奔別炭鑛に於て一般鑛夫より選出せる伍長を以て組織したる會社の諮問機關とも云ふべき伍長會なるものが在るが之れもまた此の制度に關しての一の類例と見るべきものである。

然るに偶々大正八年鐵道院に於て首めて近代的意義を有する國有鐵道現業員委員會の創設せらるゝや時恰も歐洲大戰後經濟界の變動に因り各所に勞働爭議の頻發したる際であつたから、或は勞働者要求の結果として、又は企業者側よりの自發的施設として之と相前後して官營及び民營工場に類似の施設を爲すもの續出するに至り、此の制度の實施は此時より急に世上の注目を惹くに至つた。更に大正十年に入るや、殊に勞働團體の後援ある勞働爭議に於ては此の制度の實施を要求事項の一として提出するもの二十五件の多きに上り、同年末には工場、鑛山、其他一般事業界に於て、或は爭議解決條件の履行の結果として、或は時代の趨勢を看取したるものゝ自發的施設として、大阪、兵庫を初め九府縣下に亙つて總數五十餘の開設を見るに至つた。尙ほ純粹なる勞働委員會を以て見るべからざるも之に準ずべきもの卽ち工場、鑛山從業者の共濟、修養及び親睦を目的とする組合にして傍ら勞資双方の意志疏通機關と爲り實績上此の制度の作用を爲すものゝ同年中各地方に設置されたものは約三十に達した。

茲に於て勞資協調會にては此際國家として之に關する準據法規を制定する必要あるべしと爲し、大正十年十月勞働委員會法案を起草し、內閣、內務省及び農商務省へ建議すると共に、一面主なる企業者の會同を促し、此の制度の普及發達に就き意見を求めたのである。然るに大正十一年に至り此の制度に對する勞働者側要望の聲頓に衰へ、僅かに前年の餘沫として一月中大阪府下東洋製紙株式會社勞働爭議に方り、四月中同府下加古川製紙株式會社に於て勞働者側より他の要求事項に附隨して要求されたもの各一件あつたが、這は何れも會社側の拒絶する所となつた。又此の傾向は企業者側に於ても同樣であつて新たに此の制度を採用するもの激減し、僅に大阪二廣島、愛媛各一、計四あるに過ぎなかつた。之を前

年中の新設三十八に比すれば實に非常の相違である而して昨大正十二年に於ける勞働爭議中此の制度施設が勞働者側の要求事項として現はれた處は、其の主たるものとして一件、附隨的のものとして四件を算へたに過ぎない。然れど勞働爭議と關係なく之を實施せる工場は官營六（陸軍名古屋工廠、各地專賣局）、公營二（大阪市電新設出張所）、私營東京並ひに愛知の各一であつて、之を合計すれば十に及び、此の數は前途よりも多きを示して居る。

尙ほ昨大正十二年十二月末日現在に於ける全國の勞働委員會若くは準勞働委員會の施設を有する工場鑛山の數は總計百二十四であつて大阪三十三、北海道二十四、東京十七、兵庫十三、栃木八、京都五、愛知四、長崎、長野、愛媛各三、廣島、福岡、佐賀各二、靜岡、岩手、秋田、福井、山口等各一である更に之を勞働委員會と準勞働委員會とに別くれば前者は九十四にして其内官營十一、公營十、私營七十三を算し、後者は三十にして官營三、私營二十七である。已上は我國に於ける勞働委員會の近況であるが、內外工業界の趨勢に顧みて我等は此の制度の更に廣く全國各地に普及發達することの有利なるを認め、切に之れを期待するものである。

日本全國に於ける巡回文庫の概況

其の館數、經費、藏書册數、其他

巡回文庫は之を分つて三種とする、一は圖書館の藏書の一部を之に充てゝ圖書館の事業の一と爲すもの、一は圖書館附屬の巡回文庫、他の一は全然獨立せる巡回文庫である。文部省の調査によれば、全國中之が設備なき處は北海道、石川、富山、鳥取、沖縄の一廳四縣あるのみで、他の三府三十九縣に於ては皆之が設置されて居る。其數は公設三四七、私設一、三三四、合計一、六八一であつて、略々公私立圖書館の數と同一である。其の設立者別より見るときは圖書館と反對に私設が大部分を占めて居る。設

立者中には公設と雖も必ずしも認可を受けたるものでなく、唯何々村、何々町、何々市の内の何々町が之を設けて居ると言ふに過ぎない處もある。私設の多くは青年團の經營であつて、教育會、處女會、婦人會等の經營するものは少ない。また一私人として經營するものも多くはない。今全國における館數（公私共）經費、藏書册數を擧ぐれば

府縣	館數	經費（圓）	藏書册數
東京	一三	一三、四三七	二〇、〇五四
京都	七	一、三二七	六、六四七
大阪	二一	一、四〇八	七、六二〇
神奈川	二六	二、一七四	一七、八三六
兵庫	七三	四、〇四七	三〇、二五五
長崎	五二	一、七八七	一〇、三二六
新潟	二八	一、五八七	四八、〇五九
埼玉	四〇	五一八	一二、三五八
群馬	二五	一、四七八	一一、五五一
千葉	三四	一、一一四	一一、八〇一
茨城	八五	四、二四二	四〇、四一九
栃木	五	一六〇	二、三一〇
奈良	一六	一、〇九四	六、五五一
三重	九六	三、四六七	四四、四一三
愛知	二九	三、六〇八	一六、〇三一
静岡	四九	二、四八七	一二、三七六
山梨	三一	一、〇三七	五、二〇〇
滋賀	六〇	二、四四一	三五、二三一
岐阜	九五	三、六七九	二八、三九五
長野	八八	五、二〇〇	六七、三七一
宮城	三二	一、五三九	二〇、六九一
福島	一一四	二、九四六	三一、七八九
岩手	四〇	四八六	八、〇一八
青森	一〇	四九六	三、四〇八
山形	四	三二二	三、九七一
秋田	九	六九七	一五、三八三
福井	三二	七二〇	一九、八二二
島根	三九	二、三九七	四一、六一一
岡山	七五	八、九七五	三二、五八一
廣島	六七	四、二九八	四八、〇六七
山口	七四	七、五六六	一三五、七〇九
和歌山	三一	一、八八五	一四、三〇七
徳島	一九	一〇八	一〇、二一八
香川	四八	三、三二〇	二四、五五二
愛媛	一	二〇	四九九
高知	九	一、九四六	八、一四三
福岡	五二	四、二七五	二八、三二五
大分	二八	一、二六五	八、二一〇
佐賀	二八	三、〇五五	一八、六〇九

熊本	三〇	四、四三一	一三、四八三
宮崎	三	一、七四六	一一、四九六
鹿兒島	六三	三、三九六	一六、六五六
總計	一、六八一	一一一、九八〇	九四九、一七二

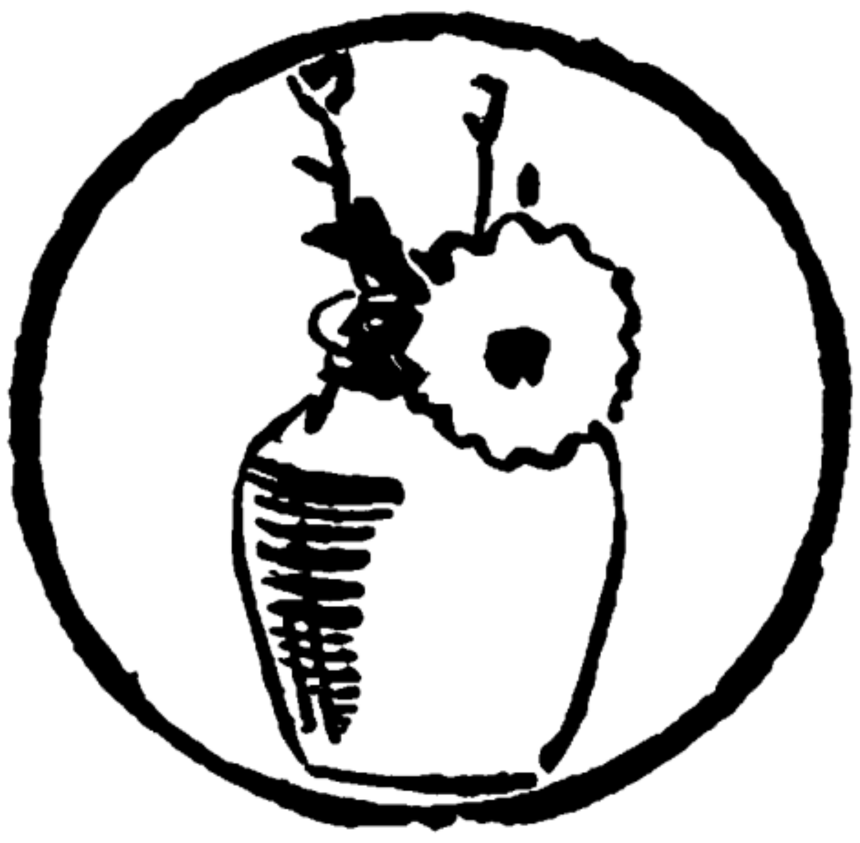
經費總額十一萬一千九百八十圓であつて、一文庫平均六十六圓に當り、藏書冊數は總計九十四萬九千百七十二冊、一文庫平均五百六十四冊といふ實狀で極めて規模の小なるものである。

之が編成法を見るに其の多くは其の廻附先の數に應じて八個とか十個とかに編成し、二十冊、三十冊等を一纏めとし、之を箱に納めて運送に便にするものが多い。又中には柳行李、ヅックの袋の如きものに收納することもある。廻附先は小學校、青年集會所、青年團支部長宅、各字會議所、床屋、會員個人宅、倶樂部、處女會本支部、氏子總代宅等種々あつて一定しない。また廻附方法は廻附先、廻附期間等を記載したる一定の表を作つて置いて、此順に從つて或は小學校兒童上級生に依賴するとか、順々に各廻附先より廻附するとか、又廻附に費用を要するときは本部より支給するものもあれば廻附先の負擔とするものもあつて、是れ亦一定して居ない。要するに編成法、廻附先並びに廻附方法は何れも其の土地の情況に最も適せる方法を採ることを必要とし、又現在その方法を採りつゝある樣である。

覽閲人員は圖書館の如く明かに調査の出來ない點がある爲め計算し難いけれども、實際は表面に現はれたる數以上に達するものと思はれる。圖書交換期限は十日とか、二十日とか、或は一ヶ月又は三四ヶ月もあり、長いのになると六ヶ月に亘るものもあつて一定しない。此の期間の如きも其の廻附先の數や編成法、圖書冊數等によつて適宜に長短を定めることが順當であらう。また巡回文庫の事務員には專業的に從事するもの少なく、其の多くは青年團幹部、總代、會員中の有志等が之に膺つて居る。その他官吏、教員、役場吏員等も亦相當之に盡力して居る樣である。中には六七八乃至十人も之に力を致して居る文庫もある。此等の調査も精確に出來ない爲め全體の數を知ることは不可能である。

× × × × × × × × × × × ×

調査事項



滿洲及び大連の犯罪

高橋月南

大連に於ける犯罪は人口の增殖と共に增加し、而も其の犯罪行爲は益々巧妙複雜を極め、之れが取締に一方ならぬ苦心を要するので、警務署の理想とする『事件を未然に防止する』と云ふことは容易に出來ない。殊に大連は日支人雜居の都市であるから犯罪の性質及び傾向も內地等にて見るとは異なつた特殊的のものがある。犯罪も經濟事情と關係があるため大正七八年の謂ゆる好況時代には、一面浮華輕佻の俗を馴致したとは言へ、當時は一般に生活が樂であつたので、犯罪件數は割合に尠なかつたが、不景氣時代の今日は、生活の困難と人心の惡化と相待つて詐欺、橫領、背信、背任及び竊盜などいふ質の好くない犯罪が著しく增加するに至つた。

全滿洲に於ける犯罪件數を見るに、關東州內は大正七年に一〇・一七九件で、此の檢擧件數八・三三一件、人員八・六六五名であつたが、翌八年には著しく減少して八・三三八件、此の檢擧件數六・七七三件人員七・〇〇六名、九年には稍々增して九・一五六件此の檢擧件數七・四一三件、人員七・六四一名であつた。州內と言つても犯罪件數の七八割は大連であつて、其他の二三割は旅順、金州、貔子窩、普蘭店等である。次に州外は我が領事館警察の取扱に係るもので、件數、人員共に州內に比すれば尠なく、大正七年は五・一〇六件の犯罪件數に對し檢擧されたる

もの三・六九三件、此の人員三・八四一名、八年は六・〇八〇件、此の檢擧件數三・四八三件、人員三・九六八名、九年は稍々增加して六・七六七件、此の檢擧件數四・八六六件、人員四・七四八名であつた。處が州内及び州外とも其後の十年以降は頓に犯罪數を增加した。十年及び十一年は卽ち左の如し。

關東州内犯罪數

	犯罪件數	檢擧件數	同人員
大正十年	一〇、〇〇七	八、五一九	九、六四一
同 十一年	一一、六六一	六、四七三	一〇、九二四

關東州外犯罪數

大正十年	六、三六五	四、三六七	四、八三七
同 十一年	六、三六四	四、七八一	四、四九三

州外は暫く措き、州内に於ける犯罪種別を見るに件數の最も多いのは刑法外の諸法令違反で、それが四・六一九件、刑法上の犯罪は窃盗の三・九七七件を最多とし、次は賭博及び富籤に關する罪が五〇二件詐欺恐喝の罪が四九八件、横領の罪が三〇〇件等である。其他の重なる犯罪の種別と其の檢擧件數並びに其の人員數は左の通りである。

種類	犯罪件數	檢擧件數	人員數
放火及び失火の罪	一九	一九	二〇
阿片煙の罪	五二	五一	八五
文書僞造罪	二五	二五	二四
猥褻姦淫及重婚の罪	二六	二六	三七
賭博及富籤に關する罪	五〇二	五〇〇	二、二七三
殺人の罪	一九	一九	二五
傷害の罪	二四五	二三五	三六八
脅迫の罪	四〇	三八	五三
窃盗の罪	三、九七七	一、九四二	一、四三二
馬賊の罪	三	二	二
海賊の罪	五	二	二
強盗の罪	五六	二六	四六
詐欺恐喝罪	四九八	四二七	三四六
横領の罪	三〇〇	二七一	二三一
贓物の罪	六五	六二	七二
誣告の罪	一三	一三	一二
掠取誘拐罪	三二	二八	一四

更に大正十二年中に於ける大連管内の犯罪狀態を見るに、件數三・〇九八件、この被害金員六四〇・九八四・二五錢、物品價格一九八・七六四・九六錢、合計八十三萬九千七百四十九圓二十一錢といふ意外の巨額に上つた。その犯罪種別を示せば

阿片煙の罪	四一	有價證券僞造の罪	五

賭博富籤罪	九三	窃盗の罪	二、四〇三
强盗の罪	二七	詐欺恐喝罪	二二四
横領の罪	一〇八	殺人の罪	八
傷害の罪	六八	贓物の罪	一五
放火失火罪	八	文書僞造罪	五
掠取誘惑罪	四	通貨僞造罪	三
其他	八六	計	三、〇九八

以上の件數を以て被害額を平均すれば、一件實に二百七十一圓餘に相當し、その被害の大半は窃盗で而も窃盗犯は多くの場合日本人が被害者で支那人が犯罪者である。斯く被害高が増大したのは同年二月中に五十七萬四千九百餘圓の横領罪があつた爲めで勿論この被害高が全部煙になつた譯ではなく、その三分の一位は檢擧されたのである。

何と言つても大連のやうに窃盗罪の多い處はない世界一と言つても過言ではない。上記の如く、窃盗は主として下層支那人の犯罪で、衣食に窮する結果にも依るが、無智なる彼等は窃盗位を太した犯罪とは思つて居ないのだから困る。今この窃盗罪に就いて、大連の居住者が幾何の犠牲を拂つて居るかを調べて見ると、凡そ左表の如くである。

十三年の窃盗被害高

	件數	金員被害高	物品被害高
一月中	一九七	一、二〇三、二一〇	七、一八二、四〇〇
二月中	一四九	四六三、八七〇	六、〇四八、六八〇
三月中	一七四	九四二、七二〇	七、八九一、三七〇
四月中	一八九	一、二四七、一一〇	六、二〇九、七〇〇
五月中	一八七	四、六二二、四三〇	九、六六八、六四〇
六月中	一五八	一、〇五九、六一〇	一二、九〇九、五九〇
七月中	一六二	一、七三六、五九〇	六、四七六、六〇〇

犯罪にも一のシーズンがある。滿洲の謂ゆる結氷期と稱する十月頃から翌年の三月頃に至る半期間は彼等下層支那人の徒食せねばならぬ季節となるので小人閑居して不善をなすの譬の通り、此の間に最も多く窃盗犯が起る。それは昨年の窃盗罪を見ても一目瞭然で、卽ち九月は一九六件に過ぎなかつたのに十月に入つて二三四件に上り、十一月は二〇七件、十二月は減少して一六二件となつたが、一月に入つて二一四件に増加し、二月は一七〇件、三月は一七二件、四月は最も尠く一六八件である。この結氷期間は賭博も多く、詐欺、横領の諸犯罪も相當にある窃盗は眞夏になると又多くなる。之れは暑さの爲め戸締りを怠る爲めその隙に生じて窃盗する者が殖ゑるのである。要するに窃盗は年中絶えないのだ。此

の窃盗に對しては、獨り警察にのみ依頼せず、各自に於て豫防することが大切である。大連警務署において最近檢擧した窃盗の件數は左の如し。

十三年中窃盗檢擧數

	件數	金員高	物品高
一月中	一三四	二、〇二八、〇六〇	四、一五七、五〇〇
二月中	八七	一二四、八五〇	二、五二一、九五〇
三月中	一二八	二二四、四一〇	五、三七一、六〇〇
四月中	八八	二二八、六〇〇	二、五四五、三〇〇
五月中	九九	一、一五五、五九〇	五、六五二、七九〇
六月中	一〇三	一、六六〇、九四〇	一〇、一二七、八〇〇
七月中	八二	四一〇、二〇〇	八、八五二、七五〇

その筋の調査によれば、現金は容易に戻らないが物品は大連管内から流出されない以上何處からとなく發見されるさうだ。窃盗に次いで被害高の多いのは詐欺、横領で、强盗、馬賊、海賊の類は警備嚴重の爲め近年著しく其の犯罪數を減少した。月によつて多少の相違はあるが、詐欺、横領の被害は毎月五六千圓位あり、その犯人は矢張り支那人に多い。これは土地柄止むを得ない事であらう。それは大連が海港地で絶えず旅客が往來するので、此間に不逞無賴のものも混入し、詐欺、横領を犯すに都合好き社會狀態となつて居るからでもあらう。その被害金高も從つてまた多額に上るのである。本年中の被害件數、金員及び物品高のうち檢擧されたる犯罪件數、金員及び物品高は左の通りである。

十三年中被害數と檢擧數

		件數	金員高	物品高
一月中	被害	二一五	二、〇一六、九四〇	七、九九〇、六〇〇
	檢擧	一三四	二、〇二八、〇六〇	四、一五七、五〇〇
二月中	被害	一五九	八九五、四七〇	六、六六六、三八〇
	檢擧	一〇六	一〇、八八二、六五〇	三、八九四、二五〇
三月中	被害	一〇九	六、一四六、四七〇	一一、七八二、〇二〇
	檢擧	一五一	六、六二八、九三〇	一五、二〇七、七五〇
四月中	被害	二〇七	二、二五一、〇四〇	七、八八〇、八〇〇
	檢擧	一一七	一、七二四、九二〇	四、八〇七、五二〇
五月中	被害	二〇九	一六六、五二七、五三〇	一二、三八三、九九〇
	檢擧	一二四	一六三、九一〇、五九〇	七、〇三九、一四〇
六月中	被害	一七〇	二、七二六、二二〇	一四、九二三、〇七〇
	檢擧	一二一	四、七〇一、七六〇	一九、〇六〇、四六〇
七月中	被害	一八四	一四、四五三、三八〇	七、一四四、〇一〇
	檢擧	一〇〇	四、六六五、七一〇	九、五五六、〇五〇

此の被害高中五月の十六萬六千五百餘圓は本年のレコードを破つたもので此の中には某銀行に關係してゐた者が檢擧されてゐる。一擧に十數萬圓の被害があつたのは、前記の十二年二月中に横領罪として收監された某會社の怪事件があつたからである。その被害金額實に五十七萬四千九百餘圓といふ大連開闢以來の相當大きな事件であつた。

更に特殊の犯罪とも見るべき公務執行妨害罪は三件、住居を侵したる罪が二件、名譽に對する罪二件不敬に關する罪一件等もある。この不敬罪は或る氣まぐれの青年が二三人共謀して宣傳ビラの中に不敬に亘る文字を入れて市中に撒き散らしたのであつて當局者は一時大騷ぎをなした。大連において殆ど見ることの出來ない犯罪は騷擾罪である。之れは大連に勞働團體などのない爲めでもあらう。

其の代り支那人間にはその通有性とも見るべき或る特殊の犯罪がある。それは賭博、遺棄、阿片煙に關するもので、賭博犯が一番多いやうだ。彼等の賭博に對する觀念は日本人のそれと餘程趣を異にしてゐる。近代敎育を受けた支那人は殆んど賭博(馬券、株式は別)を遣らない樣だが、支那人は賭博を左程の罪惡と思つてゐないので、物品を賣るにも賭博類似の事を行ひ、之を一種の遊戯と心得て居る位である正月の如きは貧富の別なく賭博を開く。從つて犯罪が多いのだ。次いで多いのは遺棄の罪で、之は重に赤子の死屍を放棄するのであるが、要するに彼等の習慣と因襲に依るのである。本年に入つてからも既に十六件程も此種の犯罪が擧げられた。

阿片煙に關する罪は阿片の密賣買、密輸送であるが、當局の取締が益々峻嚴となつた爲め、昨今は次第に減少してゐる。それでも本年七月迄に十一件檢擧された。これも窃盜と共に支那人通有の特殊犯罪であつて當局者も此の取締には一方ならぬ苦心をして居る。阿片に關する犯罪中には日本人も含まれて居る。本年七月までの阿片に關する犯罪の檢擧犯人は八百九十四名で、其のうち日本人は二百六十七名、支那人は六百二十七名である。

日本人の犯罪の中で一番多いのは傷害、詐欺、横領等で、賭博も相當にある。最近著しく增加したのは窃盜罪である。その主因は不景氣の爲め內地方面より無職者が盛んに入り込んで來て、所持金のある間は何うにか喰つて居るが、愈々窮迫のドン底に陷ると、苦しまぎれに窃盜を働くのである。本年七月迄の檢擧犯人は既に四十四名に上つた。支那人に比較すれば問題でないが、這うした犯罪者を出すのは一面時代の罪、社會の罪であつて、注意すべき事である。十三年七月迄の主要犯罪件數は

阿片煙の罪	一一	遺棄の罪	一六
賭博の罪	五三	殺人の罪	一四

傷害の罪	四六	過失の罪	一〇
窃盗の罪	一、一一五	詐欺の罪	六二
横領の罪	四八	放火失火罪	九

茲に新犯罪として當局者の頭を惱して居るのは放火及び失火の罪である。支那商人の中には不景氣のため僅か五六百圓の商品に對して二三千圓の火災保險を附け火を放つて保險金の騙取を企てやうとする者がある。是れ放火の多くなつた所以だ。支那人のみならず日本人にも不心得者があるやうだ。此の弊害を釀生せしめたのは大連に於ける火災保險會社が競爭して保險率を低下し契約後の事を全く考慮しなかつた故に外ならぬ。某保險會社の如きは自社の取扱ひの確實ならんことを示さん爲め、火災のあつたとき、多少の犧牲を拂つて保險金を支拂つたところそれが却つて仇となり、狡猾な支那商人は眞面目に商賣するよりも保險金を騙取した方が餘程儲かると考ね、之が爲め火災を多くしたとの說もある。大正十二年中は僅か八件に過ぎなかつたが本年は七月迄で既に九件に達した。從來大連に於ける火災は、冬期間における煖房裝置の不完備の爲め、或はまた支那人の炕、洋燈等の轉覆等の爲め、それが原因となつて發生する位に過ぎなかつたが、火災保險の出來た爲め、保險金額欲しさの放火犯が新たに發生したことは、之れもまた時代の罪であらう。

大連慈惠病院の現況

大連慈惠病院理事長　柴田博陽

吾が大連慈惠病院は昨年中永らく勤續せし醫師二名が一時に異動した爲め、非常なる打擊を被つたが本年は幸ひ其の補充も出來て全部人手が揃つたから昨今の本院は社會の期待に反かぬ活動を繼續して居る。茲に本院に於ける現在の狀況を概記する。

播磨町の本院　從來醫師三名なりしが、之れも全部揃つて、看護婦等に至るまで一名の缺員もなく協力一致診療に從事して居る。昨今の入院患者

は七八十名位なものであるが外來患者は百名内外の多きに達して居る。其のうち入院の三分の一と外來の七八分までは實費患者であるが、入院料は一日金壹圓、外來は診察料なしの一律金拾錢均一と云ふ破格の低廉である。夫れでも一箇月の經費に對する三分の一に當る二千圓位の收入になる。病氣の種類は外科、婦人科等のものが比較的多く、内科方面は割合に尠ない。最も呼吸器病などは可なり多い。それに施療患者や委託患者は外科的疾患者に少く呼吸器とか精神病者とかに多い樣である。

伏見臺の分院 伏見臺の分院は主として精神病者を取扱ふ事になつて居るが、新任の醫師は單に精神病のみでなく婦人科にも多くの經驗を有する事とて、患者の信用篤く、從來多く見ざりし外來患者が昨今に至りて急に增加し、每日二十餘名の外來患者を取扱ふといふ有樣で、相當に繁忙を極めて居る。精神病者は昨年の今頃は三十五六名の所を上下して居たが本年は如何なる故か三十名内外に減少した。最も之れは一時的の現象に過ぎまいが兎に角昨年より尠ない。支那人の精神病者は今日まで餘り多く入院しなかつたが、近頃警務署から送り込むので現在四五名入院して居る。是等は少しでも快い方に傾くと宏濟善堂病院の方に廻送して居る。

患者の取扱數 昨年四月一日より本年三月末日までに於ける本院及び分院においてそれ〴〵取扱つた患者の數は左の通りである。

△入院の部

人員	實費患者	委託患者	施療患者	計
實數	五三〇	七二	一〇六	七〇八
延人員	一五四七五	六七二七	七三七三	二九五七五

△外來の部

人員	實費患者	委託患者	施療患者	計
實數	三三九五	〇	四九七	三八九二
延人員	一五八八五	〇	三〇二五	一八九一〇

概して昨年は例年に比して尠ない樣に思ふ。之れは醫師の異動したことが其の原因でもあつたらうが病者が一般に尠なかつたのも事實である。それと同時に世の不景氣に伴ふて氣の毒なる救民や行路病者の多かつたのは注目すべき點である。

經常費の收支 昨年度に於ける本院の經常費は八月九日評議員會を開いて其の席上報告した通りで其の決算は左の通りである。

大正十二年度收支決算

△歳入部

補助金	一八、〇〇〇・〇〇円
委託患者取扱料	六、五四〇・〇〇
寄附金	七六五・〇〇
預金利子	一八四・三七
診療部收入	二三、七二三・六〇
副業部收入	三、六九三・五〇
雜收入	三、二九〇・五〇
特別資金繰入	二、七三一・二九
合計	六二、九二八・四六

△支出部

給料及手當	二二、八六七・九〇円
需用費	三二、七一一・九六
修理費	一、〇五三・八〇
看護婦養成費	三二〇・〇〇
職員慰勞費	四、八四四・八〇
宿舍料	三七〇・〇〇
旅費	七六〇・〇〇
合計	六二、九二八・四六

以上の通りで約**六萬三千圓**の經費である。補助金**壹萬八千圓**は關東廳の前例による補助で診療部の**二萬三千圓**は三萬圓の豫算に對し**七千圓**の不足である支出の部にて職員慰勞金の四千八百餘圓は非常に多い樣であるが、之れには七八年も勤續せる醫師二名に對する慰勞金を含むで居るのであつて、現職員に對する年末慰勞金は壹千餘圓に過ぎない。要するに收支に於て二千七百三十一圓餘の不足を生じ夫れを特別資金より繰入れ漸く補充したのである。

病院の資金 吾が病院には基本金たる永遠資金と特別資金及び恩賜資金の三口ある。此の三口の資本金本年三月末日の現在額は永遠資金の部にて金拾萬四百五拾八圓九拾錢、特別資金の部にて金壹千五百九圓參拾七錢、恩賜資金金壹千參拾九圓四拾貳錢で、右の內永遠資金拾萬圓だけは年九分の利子を以て大連市に貸付けてある。其他は正隆と滿洲銀行とに特別當座となして預金して置くが、吾が病院は五拾萬圓をモットーとして基本金を作り、財政の基礎を鞏固にする方針を執つて居る。



東三省の敎育と其の施設

在奉天　田原漢東

一、沿革と現狀

中華民國政府が樹立され、從來の學制に一大刷新を加へてから、支那の敎育事業は之を一轉機として著るしく進步した。財政及び民度等の關係で、未だ日本の夫れに比すべくもないが、東西先進國を模範とした丈けに、其の學制は他國のそれと何等變つた所がない。今後財政が充實し民度が向上したならば此の學制に生命が宿り、活きたものに成り、支那敎育界もやがては理想境に到達することであらう。東三省の如きは已に此の傾向が著るしく現はれて居る今之を奉天省城に於ける現狀及び變遷に就いて見ると其の一斑を窺知することが出來る。

奉天省城の敎育事業は世間周知の如く北京政府敎育部に直屬し奉天省長公署の管轄する敎育廳が司つて居る。現在適用されて居る學制は幾多の變遷を經て民國十一年末に改訂されたものを其儘適用して居るが奉天敎育廳は最近更に之を改訂すべく計畫中である。之れに關する事柄は後章に記るすとして先づ奉天における現行の學齡別及び大正十一年現任の學校並びに其の就學兒童數を表記しやう。

▲學齡別

初等敎育	初級	自六歲至九歲
	高級	自十歲至十二歲
中等敎育	初級	自十三歲至十五歲
	高級	自十六歲至十七歲
高等敎育	專門學校	自十八歲至二十二歲
	大學校	自十八歲至二十四歲
	大學院	自二十二歲至二十六歲

中學敎育の中に普通師範學校及び甲種商業學校を含む

▲學校數

初等敎育	民國學校	十三校
	高等學校	十三校
中等學校	中學校	二校
	師範學校	一校
	女子師範學校	一校
	工業學校	一校
	商業學校	一校

高等敎育｛國文專門學校　一校
　　　　　高等師範學校　一校

此の外省立大學校は目下開校準備中

▲就學數及び卒業數

校別	就學數	卒業數
國民學校	三二五五六	五七八
高等學校	一六〇九	三五〇
中學校	五〇三	八二
師範學校	一五三二	二八二
工業學校	三五五	六八
商業學校	六九六	一四九
國文專門學校	一六三	七二

其他は不明であるから省略する

以上の統計は民國十一年末の調査で、現在の實情と遙に懸隔して居るが、最近の實情を知る事は少しく困難である。併し各方面の消息を綜合すると、奉天省城の就學兒童數は全國に比し十二位にあると稱せられ、成績は比較的良好であるらしい。

二、敎育界の新傾向

奉天省城の敎育施設は前述の如く敢て他省に遜色なき有樣であるが、最近張作霖氏は三省の自治斷行と共に國家の興隆と民衆の福祉を增進するには國民敎育の普及を圖ることが最大急務であるとし、敎育當事者をして之が研究に專念せしめて居る。現敎育廳長は嘗て英國に留學した相當の實力經歷ある東三省屈指の敎育家であるそうな。敎育廳長の後任として張作霖氏が此の人を任用したのを見ても東三省の敎育振興に張氏が如何に留意しつゝある乎を推察し得るだらう。此の新敎育廳長は着任匆々豫て一部先見者に依つて論議された國定敎科書の改善を敎育刷新の第一義であると力說して居る。

民國の敎育は前述の如く北京政府敎育部に直屬して居るのだから廳長の如きも本來なれば北京政府の推薦する人材を任用するのが至當である。然るに奉天敎育廳のみは全然北京政府の支配を受けず、張作霖氏の勢力圈內に置かれ、廳長の任命の如きも張氏の命令に依つて行はれて居る。蓋し三省自治の結果であらう。斯樣な狀態で、國定敎科書改訂の如きも北京政府の制肘を受けずして決行されるのであるが改訂の理由は、現在の國定敎科書は多く民國元年に外國の敎育を基本として編纂されたもので、餘りに歐米かぶれして居る爲め、肝腎な民族性と國情に副

はぬ所があると云ふのと、今一つは當時の國民思想と今日とは甚だしく相違するから、先づ現代における新らしい民衆思想を基調とし、猶ほ支那民族性を中心とした教科書を編成しやうと云ふのである。本件は教育改善の緊急問題として愼重に審議討究されたものであるから愈々實施の曉に至らば恐らく奉天教育界に一新紀元を劃することであらう。

三、基礎教育の刷新

更らに奉天教育廳は初等教育の普及に關し新政策を採らんとして居る。前記の如く、奉天省城に於ける初等教育の入學兒童は民國十一年に五千二百六十六名で、其のうち卒業した者は僅かに九百二十八名に過ぎない。勿論戶籍制度の如き頗る不完全なる爲め、確かなる計數的統計を求むる事は無理で、從つて確實を期し難いが、此の就學數が學齡兒童總數の約四パーセント內外にしか達しないと云ふ事だけは分る。斯くの如く中華民國の義務教育は殆ど閑却されて居るが、張作霖氏は省民の智識向上を期する第一要件として國民教育の普遍徹底を圖る爲め、初等教育機關を增設し、貧困者に對しては相當の奬學金を與へて就學せしめ、以て上下貧富の別なく平等に教育の恩惠に浴せしめるとの事である。

初等教育は民國の基礎教育で、最も考慮を要するものであるが、現在の教育法は歐米先進國を模範として作られた移入物で、玆に大なる缺陷を有する爲め、上記の如く全然之を改め、支那國民性を基調として教育方針を採用する事になつたのである。此の趣旨に基き八月上旬より東三省の各初等教育の課目から外國語の教授を撤廢する事になつた。更に前教育廳長時代から問題になつた滿鐵經營の公學堂の教育權回收の如き、一部では排日の一手段と目されたが、事實は然らず、之れも國民の基礎教育と云ふ當然の見地に出たものである。斯くの如く東三省の教育事業及び教育方針は從來の放任主義から漸次組織的系統的に改善されんとしつゝあるのだ。

四、社會教育の現況

最後に社會教育施設の現狀に就て述べん。獨り奉天省城のみでなく東三省に於ける此種施設は至極幼稚なものである。奉天同善堂の工藝練習所及び僅少な私立勸學所等既設のものがあつて其の上に官營若

くは省營の施設を見るに至つたのは最近の事である。奉天市政廳長は市制實施以來社會敎育施設の必要なる以所を力說し、銳意之が實施に力めた結果、漸く其の實現を見るに至り、目下存在するものは省立通俗圖書館、巡回文庫、市民講座等で、更らに最近交通學校を設立して都市交通に關する智識の普及を計らんとして居る。併し是等の施設は要するに今日のところ何れもまだ搖籃時代である。

學校中心の社會敎育

日本內地のそれと大連との比較

我國に於ける社會事業は年を逐ふて發達し、最近殊に見るべきもの多く、而もその發達の傾向は科學的に進みつゝある。兩三年來の經濟界の打擊を受けて多少振はぬ樣にも思はれるが大阪市の如きは相當の堅實味を以て步を進めて居る。之れに反し東京は昨年の震災後一頓挫の有樣で大阪と比較し多大の遜色がある。偖て一步退いて我が大連市に於ける既設社會事業の現況を見るに、何れも現狀維持に過ぎないで、新に起つたものは殆ど之なく、經營困難のものも少くない。積極的に事業を經營するには相當の資金を要すること勿論で、その資金を得ることが至難の結果、遂に斯く相成つたのであらう。

元來大連在住者は一般に社會事業に就いての理解力がなく隨つて冷淡である。殊に學校を中心として社會敎育に至つては殆ど顧られて居ない。僅かに大連奬學會が小學校を中心として「自由畫展覽會」を春秋二回開催する外、巡回活動寫眞、野球試合等を辛うじて開催して居るに過ぎない。內地の各學校に於ては社會敎育主事を置き、夫々專門的に研究せしめ、文部省も社會敎育講習會を開催し、各府縣より講習生を募集して之が徹底を計り、他方に於ては社會敎育事務打合協議會を開き、更に社會敎育調査會を設置する事、凡ゆる方法を以て熱心に其の發達を計つて居る。今之等の諸項を大連のそれと比較して

記述して見れば大要左の通りである。

一、小學校中心の社會教育

小學校を中心として社會教育を實施して居る處は內地では既に二十八縣からある。その種別を分類すると十三種に分つことが出來而してその地方地方に依つて自ら特質を持つて居る。特殊的のものは暫く措き今茲に各地共通の事項を列記しやう。

（一）**校地、校舍の開放と設備の利用**　兒童、青年の爲めに校地を開放するものあり、各公私團體の爲めに校舍を開放するものあり、また一般民衆の爲めに設備を利用せしむることもある。然るに大連の小學校では校地を開放して一般者に利用せしめてゐる位で、中にはそれすら禁じて居る學校がある、イヤ其方が多い。せめて暑中休暇の間だけでも思ひ切つて開放して貰ひたいものである。

（二）**學級文庫の開設**　圖書館を持つて居る小學校はないが、本年の攝政宮殿下御成婚を記念する爲め各學校は何れも學級文庫を新設する事になつた。之れは各學級に應じて兒童の書籍を購入するのであつて一學校約二千圓位の豫定である。全部兒童の保護者から寄附を得て設けるのである。大連の小學校の中には此の學級文庫設置の準備に着手したものもある。尙ほ此の文庫は書籍のみでなく兒童の授業用として種々の器具も準備する事になつて居る。

（三）**補習教育施設**　內地では此の補習教育を一般小學校と併置して居るものが多く、或は分離せるものもあるが、それは極めて少數である。然るに大連に於ては未だ一校も開設して居ない。

（四）**學校講堂を講演會等に開放**　內地では一般に行はれて居り、大連の學校でも時折は開放使用される事もあるが、商業學校や高等女學校の如きは賃貸で無料でないのは面白くない。斯る會合には學校たるもの寧ろ卒先して其の講堂を無料開放し進んで社會教育の上に貢獻すべきであると思ふ。

（五）**印刷物配布、揭示板設置、展覽會、品評會、父兄會、母姉會等の開設**　內地の學校と同じく大連の各學校でも開催して居る。然るに展覽會は自由畫のみで、兒童の作品は年一回の開校記念日か卒業式當日位に過ぎず、平素は全く閑却されて居る。父兄會及び母姉會は大連では保護者會と稱して相當の權威あるものになり、醵金さへ出來、それが更に兒

童衛生等にも利用されてある。この點は寧ろ内地の學校によりも幾らか優つて居るやうだ。

(六)青年會、處女會、各種教化團體　大連には別に此種の會は組織されて居らず、卒業生が年に二回位集つて同窓會を開いて居るに過ぎないのであるから、内地に比して甚しく遜色がある。

(七)體育の奬勵と衛生思想の涵養　地方民衆の此種の會合の爲めに學校を開放するのであるが内地でも大連でも之はまだ十分に行はれて居ない。

(八)兒童生徒の自治訓練　内地の各學校には級友會、學友會、子供會、少年消防隊等があつて、主として自治的訓練を行つて居るが、大連では年三回位學藝會を開いて居る位で、而もそれは自校生徒の爲めのみであるから、極めて不徹底である。

(九)美風良俗の助長　内地に引換ゐ之れも大連の各學校では別して熱心が足らない。敬神、愛國、祖先崇拜、國旗掲揚、敬老等は勿論、更に生活の改善陋風汚俗の矯正、民力の涵養、貯蓄の奬勵、篤行者の表彰等も學校として是非努むべき要務である。伏見尋小學校では貯蓄奬勵の意味で兒童希望者に對し若干宛の貯金を勸めて居るが、夫れは毎月日を定め郵便局から吏員が派出して一切を取扱ふのであつて既に一箇年以上を經過した今日、兒童の金錢に對する觀念が大變異つて來たさうだ。然しこの貯金に就いては大分反對意見を有する學校長もあるやうで實施して居るのは唯此の一校だけである。

(十)各種の宣傳　交通道德、兒童保護、時間尊重社會奉仕、生活改善、災害防止等が其の宣傳の重なるものであつて、内地の學校では他と協力して隨時行つて居る。何事も兎角放慢に流れ易い植民地には此種の宣傳が別して必要であるにも拘はらず、一般に振はず、學校でも等閑に附して居る。

(十一)娛樂の改善　これは音樂會、生花會、活動寫眞、幻燈、歌劇、蓄音機、繪畫展覽會、舞踏等に對するもので、趣味向上を目的として居る。小學校が此種のことに當るのは問題であるが音樂會や繪書展覽會等は左しての設備も要せず簡易に實施されるだらうから試みても可からう。然るに大連には小學校以上に設備の整つた種々の會館があるので之等の事に小學校を利用することは殆どない。

(十二)兒童保護に關する施設　學校用品給與、子守教育、託兒所、職業指導等を爲すのであるが、學

校用品給與は大連でも或る程度まで實施されて居る然るに其他の事項に至つては遺憾乍ら內地の學校の熱心なのに比べると全く成つて居ない。

二、中等學校中心の社會敎育

中等學校共通のものを項目別に列記すれば大要左の通りである。其中には大連の中等學校にても既に實施せるものが多々ある。

(一)學校開放(校舍、運動場、圖書等)
(二)講演會(主として生活改善、國民道德、婦人文化、家事經濟、民力涵養等)
(三)講師派遣(主として中等敎員を地方の講演會に派出して講演せしめるのである)
(四)學藝に關する會團の組織(博物學會、鄉土史談會、鄉土研究會等の類のもの)
(五)各種敎化團體の助成
(六)學藝會、展覽會、運動會の公開
(七)掲示敎育(掲示板を設置し、又は學校の掲示板を公開するのであるが、大連における東洋協會の商業學校は開校當時より常識板と稱して此の掲示板を活用して居り、更らにその掲載せる記

事を小冊に綴めて發行して居る)
(八)生徒及び同窓會を通じての宣傳
(九)小學校敎員に對する指導(講習會、研究會、個人指導等に關することである)
(十)印刷物の配布
(十一)理化學實驗公開
(十二)體育殊に武道奬勵(武術大會、選手派遣等)
(十三)補習敎育

次に女學校に於て學校を中心として社會敎育の向上發展に資すべきものは左の諸項である。

(一)手藝、家事講習會(卒業生を中心として)
(二)音樂會(毎年或る一定時期に於て開會)
(三)女中訓練並に招待會(短期講習會、娛樂會で或地方にては藝娼妓の爲めに開催する)
(四)先賢祭、尙齒會(その地方の尊敬すべき人物を選んで、追悼會、記念會等を行ひ、又生徒の家庭の老齡者を招待して尙齒會を開く)

更に商工業學校に於けるものは左の如し

(一)別科敎場と實地指導
(二)工業相談(普通相談及び展覽會)
(三)競算會(主として卒業生及び普通の店員)

（四）家業會（簿記、算術、商品、英語等に就いての競技をなし、尙ほ徒弟の敎養に資する）
（五）商事相談（廣告、店則、商品鑑定等に就て）
尙ほ此の外にも學校を中心とした施設が種々有るであらうが、それ等を一々遺憾なく實施することは容易な業でない。社會の複雜となり行く今日、學校も從來のやうな事ではならぬので有るから、社會の實勢と時代の進步に鑑み、學校當事者たるものは社會敎育の上に十分注意を拂ふべきである。

關東州農資金融組合

農資金融組合が金州、旅順に設けられた事は已に報じたが最近大連の沙河口にも設けられた現在組合員の數は二百九十餘名で三百人に足らず金州の四百六七十名と旅順の約六百名に比して遙かに尠いが沙河口の組合は西山會、革鎭堡會、周水子會、岔溝會および海猫屯會の五會に加入者を募ることゝなつて居るから追つては一大組合を構成するであらう各組合共に組合設立の趣意宣傳が一般居住農民に徹底しなかつたゝめ組合員は主に中產以上のもので殆んど金融に困らぬものゝみが徒らに顏役風に名前を連ねたといふ奇觀を呈したのであつたが其後追々趣旨が分つて來て中產以下のものが加入し金員の借入を盛んに申込んでゐる旅順などは申込三萬圓にも達してゐる夫れと同時に現在約二萬圓を貸出し金州も二千圓近くを出してゐる沙河口組合ではその筋に對し貸出利子決定を申請中であるから貸出しまでには進んでゐないが旅順と同一率の百圓以內は日步三錢六厘五百圓未滿は日步三錢三厘に定めたいと云つてゐる斯んな低利の金であるから之を巧みに利用すれば比較的利益の薄い農業に用ゐても立派な效果を擧げ得られる筈である殊に創設當時でもあり加入奬勵のため關東廳は各組合に金一萬圓づゝの補助と組合事務上の一切の費用を負擔して吳れてゐる加入は一口十圓といふことになつて居るが既加入者には第一回拂込金として一圓だけを旣に徵收した加入者はこれによつて最大五百圓までの金融を受け最長十箇年までの年賦償還契約をすることが出來るのである尤も百圓未滿のものは一年以內に返濟することになつてゐるし百圓以上の貸金に對しては相當の擔保物件を徵することになつてゐる。

社會問題彙報

支那人勞働者の日本密入國

支那人勞働者の日本入國に關しては今春來相當手嚴しく取締つてゐるが尙ほ密入國を企だつるもの多い現に兵庫縣下だけでも理髮職人料理人以下勞働者と見做すべきもの千餘人あり其のうち理髮職人料理人等は豫め雇傭關係を調べて上陸を許可したものであるが其他の大部分は曾て傘行商或は蠟石細工の行商人に化けて入國し其後土方や日傭稼ぎになつたものである然るに當局の取締りが嚴重になるや彼等の密入國は益々巧妙となり或時は朝鮮人になつて入込み或時は百圓内外の金を持つて渡來する何分多數の人間のことだから當局でも一々詳細な調査をする譯に行かずそこで金に物を言はせて上陸を許すとこれが日ならず勞働者になる其外彼等が日本へ來るには旅劵が入らぬ處から神戸港に着くや艀船行商人に對し一人前五十錢か一圓を與へて密かに上陸する或は艀人夫に賴んで深夜人なき海岸へ上陸する等いろ／＼の手段を弄し發見されるのは僅に十人に一人もないと云つた有樣從つて支那人勞働者の數が果して何人あるやら當局でも一寸調査しがたい狀態にあるが兵庫縣警察部は是等の勞働者は明かに入國令に違反した不正入國者と認め内地人勞働者及び支那人自身をも保護する意味において此際嚴重調査を行つた上それ／＼支那へ送還することになつた右につき兵庫縣警察部では幾ら嚴しく取締つても限りある人間で多數の人間を調べることは容易に出來ない其上密航者があると云ふのだから全く遣りきれぬ神戸としては今後益々警戒を嚴にし同時に在留支那人勞働者を調査し對策を講ずると言つて居る。

道樂と娛樂並びに民衆娛樂

民衆娛樂の必要に就いて内務省囑託權田文學士は語る「娛樂と道樂とは違ふそれを娛樂を道樂の如く思ひ違ひして居るものがあるのは遺憾であるズツと昔にあつては娛樂即ち道樂であつた時代もあつたが生存競爭の激しくなつた結果は娛樂と道樂とは明かに區別せられるやうに成つたのである人間が單に生物として此世に生存するので有つたならば娛樂の要はないかも知れないが人間として生存せんとするならば娛樂といふことは必要缺くべからざるものになつた忘れもしない昨年九月の大震火災後の十幾日間我々は人間生活から生物に引戻され生物として生存したことを忘れることが出來ない人間としての生活リズムを破られ生物に引戻されて我慢することの出來ない人々は衣食住の安定を得るやバラツクの中にあつて娛樂を求め初めた大震火災後十餘日にして日比谷バラツクの中からはハモニカの響きが洩れて來た之を聽いた人々のうちには呑氣な何者の仕業かと咎むるものも有つたが之れは考へものであらう其の昔生存競爭の要を認めなかつた時代には職業の中に娛樂を需めることが能きたが生存競爭の激しくなつた結果はそれを許されなくなつた無味乾燥なる一日の職業に對する勞苦を醫し翌日の鋭氣を養ふために娛樂が必要缺くべからざるものであるとしたならば娛樂は即ち民衆生活の一要素と見て何の差支はないと思ふ。

筋肉勞働者のみに娛樂が必要で精神的勞働者には其の必要がないかと言ふにさうばかりも言へない精神的勞働者には精神的勞働者に必要な娛樂があり筋肉勞働者には筋肉勞働者

に適した娯樂のあることを忘れてはならない農村における有爲の青年が都會に走る原因の中に農村に適當したる民衆娯樂の設備のないことが如何に大なる關係を有してゐるか農村における人々の飲酒に耽ることの多いのも適當なる娯樂の設備がないからであることは言ふ迄もない文化の程度が進み生存競爭が激しくなれば成るほど民衆娯樂の必要は生じて來るさうした時に如何なる民衆娯樂を選ぶべきかといふ問題が起つて來るのであるから社會問題の研究者はこゝに着眼して現時の民衆心理に合致した有益なる普遍的新娯樂の創造に勗め一世の風潮をこれによつて指導するように深く心掛けて貰ひたい」云々。

滿鐵で兒童倶樂開設計畫

滿鐵社會課では曩に南沙河口倶樂部に兒童倶樂部を開設したが都市生活にありては遊ぶが生命の兒童に取りて其の自然の眞性を發揮せしむべく倶樂部のみでは猶ほ飽き足らない點が多い充分に其の目的を達し子供に眞の自由を與ふるには更に積極的方法に出づる必要がある同倶樂部地域は全然小公園地で且木蔭もない荒涼なるものであるから市民生活の準備として兒童に一味の温情を加へ自由な間に之を訓練する必須條項として兒童遊園の設置を計畫中で決定する迄には猶ほ幾多の曲折を要するかも知れぬが大體に於て現倶樂部敷地三百坪を小公園として設備を整へることになつて樹木を植込み花壇、砂場、築山、池等を設け他にブランコ、ベンチ、固定圓木、シーソー運動場を設備し組織的遊戲を奬勵すると同時に兒童を指導するとの事である。

その指導には遊園地主事が之れに當り兒童の生活訓練のみならず園內の規律秩序を管理し委員を設けて主事を補導せしめる兒童を少年少女幼兒の三部に區別し滿十四歳以下には入園者を制限する開園は午前六時から午後六時までと大體極めて時間により多少の短縮を自由にする方針であるらしい併し是が實現しても之を以て兒童の爲めの總てが完結されるものではない滿洲には一年の半分を灰色に色彩る長い冬がある從來此の季節に兒童に相應はしく出來た遊び場所がないのは滿洲兒童のために不幸である健康上にも發育上にも面白からぬ事が多いソコで若し春夏秋の利用に適する兒童遊園が出來たら更に進んで兒童館を作る腹案もあるらしい蓋し夫れは冬期の完全な遊び場を與へると共に現在の應急的な兒童倶樂部を立派な獨立とするのであつて要するに純眞な自由な空氣に兒童を浸す目的であるそれにしても關東廳側の兒童方面に拂はれる注意の薄いのは何ういふものか大連市內の兒童逹は其の遊び場所のないのに苦しんでゐる相當設備を施して彼等の天性を思ふが儘に暢びさす必要はないかと云はれて居る。

大連警務署に防犯係の設置

內地大都市の各警察署には防犯係と云ふものがあつて犯罪の豫防に努め多大の效果を擧げて居るが滿洲に於ては未だ其の機關なく犯罪を未然に防ぐ爲めには非常に困難して居る然し警察の眞の仕事は犯罪人を檢擧するよりも犯罪を豫防するのが大切なことであると云ふので大連警務署に於ては過般來此の防犯警察の研究をなして居たところ此際特別に防犯係を置くことは到底經費が許さぬので一時の便法として外勤員全部をして防犯事務に當らせることにし其結果に依つて專任防犯係を設置する方法を講ずることになつた。

右に對し山川署長は語る「此の防犯警察は警察事務としては最も大切なことで經費が許せば夙から實行するのであつたが派出所へ一名の巡査を增すのも困難な今日到底行はれぬから一時の便法として各交番所を初め外勤

員全部をして其の職務を兼任させる事にしたのである其の兼務員のする仕事は巡邏の際や立番等の時に怪しきものを取調べ又は各戸の戸締に注意を與ひ或種の犯罪の性質を調べて其の犯すに適合した條件を具へた所には夫々注意を怠らぬやうにするのである現に過般愛宕町の支那兩替店に强盜が入つた事件があつたが其時は防犯警察の上からして各支那兩替店質屋等に其の强盜の入込んだ狀態を精細に敎ひて之れに對する防衞策を講ぜしめ非常の效果があつたやうな有様で今後も之に就ては大いに努力する積りである」云々。

生活のために産兒の調節

生活の困難を犇々と體驗した知識階級から産兒調節の必要が恐しい勢ひで叫ばれて來た新マルサス主義の宣傳に手を染めた早大敎授安部磯雄氏の一派と産兒調節研究會を維持する男爵石本惠吉男及び平民病院長加治時次郎氏一派のものとが今日本に於ける表面に立つた有力な團體である併しながら全國に散在する醫院及び醫師で現代人の切なる要求を容れて此の産兒調節に實際上の力を藉してゐる者は殆ど數知れぬ程の數に上るであらう卽ち一方では宗敎々育等の精神的方面から他の一方では醫學衞生の物質方面から均しく民族の血を純潔にし多産多兒の弊を打破し併せて生活の安定を得せしめんが爲めに陰に陽に此の問題に向つて步を進めてゐる而して問題はその事柄の可否よりもズツと深く切り込んで如何なる調節方法が日本人に適切であるかといふ點にまで研究されて來たやうである。

産兒調節研究會の此の仕事を受持つて一身をこの爲めに犧牲にしようと意氣込んでゐる東京市外下戸塚五四八早稻田タバナツクルの小川隆四郎氏は語る「月收六十圓や七十圓では妻帶して妻子を養ふことは出來ません斯うした人達に取つての福音は産兒調節です假りに二十二三歲で結婚するとします夫れから五年位は夫婦共稼ぎをします少しばかり貯金も出來て生活が安全だといふ時に初めて子供を持つのであります私はこの主義で最近に二人の巡査を結婚させました元來靑年男女の結婚後二三年間に出來た子供はよくありません總領の甚六とはよく言つた言葉です男子は二十五歲まで女子は二十三歲まで子を産まぬことにしたら宜いと思ひますそれには産兒調節が必要です年々子供を産むことも宜しくありません男子二十五歲から四十歲まで五年目毎に一人の子供を産めばそれで理想的だと思ひます夫の神經衰弱に罹つた時又は自暴自棄に陷つて飮酒などの激しい時に妻は産兒調節を斷行しなければならぬと思ひます」と。

十月中に行ふ勞働統計調査

內務省社會局統計課にて此の十月十日に施行する勞働統計調査は關東州および滿鐵附屬地に於ても施行するが如く事業主に對する調査項目は工場または鑛山の名及びその所在地事業の種類、勞働者現在數、一日の所定勞働時間および所定休憩時間、一箇月の所定休業日數、實物給與の種類および價格等であつて勞働者に對しては男女別氏名、生年月日、出生地と配偶者の有無、敎育、職名、就業年數賃銀、實物給與の有無等である。

事業主に關する調査は之れによつて各地方における産業分布の狀況、事業の種類、規模の大小とか或は勞働時間、その他勞働條件の關係とか我國における產業および勞働の實況を窺ふに足るものであり勞働者に關する調査は之によつて勞働者の體性とか年齡とか配偶者關係とかを明かにし又凡らゆる勞働條件の中心ともいふべき賃銀の實際とか勞働時間とかを明かにし猶は男女、年齡、職業、敎育の程度等の差別によつて如何なる相違があるか夫

等實際的のことを知るのであつてその統計は將來我國における勞働問題解決の資料ともなるものである調査には事業主事務員その他工場や鑛山の事情に通ぜるものを調査委員にまた勞働者約五十名に對して一人づゝに勞働者中から副調査委員を夫々內務大臣から任命し社會局で定めた事業票と勞働票に對し各必要條件を記入、記名、捺印し工場關係のものは市長村長に提出し郡長及び府縣知事を經て鑛山關係のものは鑛務署長を經て各十二月末日迄に社會局長に申達するものであると。

犯罪者に行つた感情試驗

總ての犯罪は感情及び意思を支配する小腦組織の缺陷に基くものであると云ふので近頃米國の犯罪學者の間には感情試驗アフエクチビチーテストといふ事が喧しく唱道實行されてゐる其の唱道者オルソン判事及びヒツクソン博士の兩氏が共同して此の感情試驗を十年間四萬人の犯罪人に試みた結果を發表して以來この感情試驗はオルソン・ヒツクソン・テスト假にO・Sと呼ぶとて頗る專門家の注意する所となつたが簡單に此のテストの結果をいふと盜心ある者は悉く同種の反應があり殺人犯には殺人犯でまたそれ特有の同樣な反應が必らずあるといふ事になるのである。

さて小腦組織の缺陷者が意識的行爲をなす場合如何に正當にその行爲を考へようとしても思考と行爲とは一致しないO・Sハストによれば若い竊盜犯人に簡單な不等邊の歪形五邊形の圖を示してこれと同樣の圖を書けと命ぜられたらその悉くが家の圖を描いたこの事であるが之れは卽ち理性の命令を感情が誤解したのである理性と感情の聯合がヒツタリ一致しないから斯んな結果が生ずるのであつて歪形五邊形を見て家の圖を描くものがあつたらその人は竊盜犯の素質があるものと言つてよい又普通人ならば「家」若しくは「母」といふ言葉を聞けば先づ第一に「なつかしい」といふ言葉が起るものだが小腦缺陷者は必ずしもさうでない斯かる言葉の心理學上の謂ゆる聯想作用を應用して普通人や罪人に試みたO・Sテストの例を次に擧げる此のテストに使用した言葉は帽子、ナイフ、馬、赤等であるが之に對して普通人の第一に頭に浮んだ言葉は頭、フオーク、動物、色である然るに同樣な四つの言葉を放火犯人に對して用ひた所その答はヘルメツト、斧、消防隊、火事等何れも火事に關するものだけであつた又殺人犯をも同樣の四文字で試驗した所が之れは頭蓋殺す、棺車、血といふ匿いものであつた我國でも監獄あたりで此のクリミナル・テストを試みて見たらどうであらう否進んで普通人にもかゝるテストを行つてその人が犯罪人になる素質を有するか否かを知り犯罪の素質があれば更らに之を未然に防ぐやうな方法を講じたならば蓋し有益であらうと思ふ。

兒童教育上注意すべき要點

學校と家庭との聯絡が能くされてゐない爲め學校の仕事が誤つて傳へられたり家庭で全然正反對の事をやつて居たりして兒童教育上非常に害になることが多い例令ば學校側では自習のとき默讀を奬勵してゐるにも係らず家庭にあつては音讀を强ひたり徒らに注入主義を採つたりする又圖畫とか手工とかいふ樣な學校としては相當に重く視てゐる技能學科を詰まらないものだと輕視し過ぎる嫌ひがありはしまいかそれに尋常四年あたりの理科の如き兒童をして自然に接近させ夫れに興味を覺えしめ樣として學校ではいろ／＼と工風して骨を折つてゐるのに父兄は兒童が家庭にあつて實際研究をしやうとするとき叱言をいふ人さへ見受けるとは困つたものである。

大連の如き都市殊に植民地といつた樣な新

開地の大都市で最も困るもの、一つに活動寫眞がある學校では之れに就いて父兄に對し出來得る限り避けてもらひたいと通知はしてあるがまだ能く徹底してゐないらしい從つて來客と一所に見に行くとか父兄が連れて行くとかゞ多いので弱つてゐる兒童に見せて好いフイルムは營業本位の現在の常設館には望むべくもない體育方面では內地の兒童殊に田舍の夫れに比較すると都市の兒童が華美であり作業勞働に缺けてゐることは誰も認める處であるが一向に頓着しない次に番頭、小店員、女中等を置いてゐない處でも支那人ボーイを大抵置いてゐるが是等のあるのを好いことにして自分の子供を遊ばして置くヒドイのになると時々行ふ遠足にさへ缺席させて遊ばして置く向があるとは益々困つたものだ。

不良兒の發生する各種原因

東京府社會課に於て取扱ふ不良兒は凡そ一箇年四百人で其の多くは貧しい家庭の兒童で之等は道德的に惡いのではなく子供に對する適當な家庭敎育が施されぬ事から發生する大體之を身體、精神、社會環境の三方面から見ると身體の强弱から來る不良兒童は少いが精神から來るもので之れを普通兒童、中間性兒童、精神薄弱兒童の三つに區分して見ると百人のうち普通兒二十人、意志薄弱兒三十人その他中間性兒童といふ割合であるが環境から來るものは卽ち家庭敎育不完全から來るもので之には犯罪的傾向を帶べるものが多く窃盜横領、放火、汽車又は電車の無賃乘車等その他罪狀も種々雜多で百人中七十パーセントが窃盜、二十パーセントが横領といふ割合を示して居る之れを男女別に見ると女犯罪は男の一割で其の數も少くない其他十四歲の早熟性兒童には色情に關する罪狀もある。

殊に不良兒になる原因として注目すべき事は家庭で子供に與へる小遣錢である貧民兒童には殊に此風習があつて親は每日一錢二錢と小遣ひを與へる事を常例の如く思つて居るが之が非常に惡い影響を及ぼすのである最初受けて居た一二錢の小遣ではだん〲慾望を滿たす事が出來なくなつてそれ以上の金錢を得たくなるから自分のものと他人のものとの區別がつかなくなつて人の物に手をつける樣になり結局恐るべき罪を平氣で行ふ事になるものである其他學校なり家庭なりで子供の腦力程度を知らずに相當年齡に達して居ても九歲程度の腦力しかない者が無理に十五六歲の普通兒と同樣な敎育を行ふ結果學校が嫌になり自然活動その他の頭腦を要さぬ方面に傾いて行くから不良兒の仲間に入ることになる殊に震災後各活動寫眞館では廉價な料金で入場を許す爲め子供の見物人が多くなり學年期の兒童が晝間學校を缺席して活動見物に行く事があり其の活動の影響から不良兒が增加してゐる事は注目すべき現象であると。

都市京城の發展と兒童問題

都市京城の膨脹發展に伴ひ兒童の保健衞生は最も重要なる問題の一つとして論議されてゐる所であるが內容の充實せる兒童館の設置は市勢發展の實狀より見て最も當を得たものであるとの聲が高い右に就き朝鮮の有力者は語る『由來京城には兒童を中心とした施設が無い尤も府立、滿鐵、京城圖書館に獨立或は附屬した兒童室あるも之は單に圖書のみで最近府立圖書館が兒童のために活動寫眞を映寫し童話會を催してゐるやうだが之れ位なことでは仕樣がない都市の發展に伴ふ兒童愛護の精神よりすれば完備せる兒童館を設置し之に圖書室、博物室の外に兒童館、簡易なる動植物園、中間保育の託兒、兒童の保健相談と之に伴ふ施設を完了せねばならぬ卽ち圖書室に兒童の研究に必要な圖書を備へることは固よ

り言ふ迄もないとして博物室には地理歴史の資料を蒐集し鮮内の物產を陳列する。

次に植物園には日常生活と密接な關係ある植物及び薬植物を栽培し動物園には動物愛護の精神を涵養するため數種の動物を飼養する而して時々童話會、討論會、活動寫眞會を初め育兒その他必要な事項に就いて講演會を開き兒童の健康相談に就いては實習投薬もする尚は庭内には諸遊戯の施設を整へ屋外運動に資するといふ事にせねばならぬ併し之等の施設を完成するには尠からぬ經費を要するので府の財政狀態では之を實現せしむることは至難であらうが都市發展の實狀よりすれば何とかして實現したいものである』云々。

無理解極まる婦人の求職者

震災後發達した婦人を救ふ社會事業としての婦人相談所、婦人宿泊所、婦人職業紹介所產院、乳兒預所、婦人授產場等が新聞雜誌を通じて田舍の婦人達に何う解釋されてゐるのか東京の婦人社會事業家も遠くは北海道、四國、九州又は近縣の村嬢から突然いろ〳〵な盲目滅法な相談を書信を以て問はれるので當惑してゐるらしい淺草公園内の婦人會館には「上京して婦人事務員に成りたいから世話して下さい」と云ふ手紙が一番多い勿論この種の女子は始め女中奉公をしながら女事務員になると云ふのが志願であるがその女事務員が月三十圓前後で宿のない婦人では自分の食ひぶちにも足らぬといふ事を知らない。

これ等はまだしもとして上野の婦人相談所には東京ではたゞお產をさして吳れる所があるさうだから世話して吳れと云ふ私生兒を隱れて生み落す手段に無料產院を利用しようと云ふのがある萬世橋の職業紹介所にも漫然と「私は上京するから一番適當な職を見つけて下さい」とか「一番金のとれる婦人職業は何ですか」とか云ふ全然相談に乘れない相談が手紙で舞ひ込む同所では悉くこんな申込みに對しては「現在の東京に於ける婦人の職業は皆様が田舍で想像してゐるとは打つて變つてなか〳〵濡手で粟を掴むやうには參りません上京を思ひ留まるやうに……」と答へてゐるさうだ東京府の千駄ヶ谷目白の授產場や愛國婦人會の授產場にも「私は編物が出來るから」とか「私はミシン習ふて仕事がやりたい」と云ふ地方女の手紙が可なり來るし中には矯風會の婦人ホームに入る手續きはと云ふやうな吹き出すやうなものもあつて東京の婦人ホームが不良少女や自由廢業娼妓の收容所であることを知らぬらしいとの事である。

大阪府の能率研究所設立

大阪府に於ては攝政宮殿下御成婚記念事業として公園、記念道路、社會館建設等の數案を得たのであるが中川知事は「從來記念事業は多く慈善的のものであつて夫れでなければ記念事業でないかの如く考へて居つた向もあつた樣である然し大阪府は他の府縣とは頗る趣きを異にし我國產業界の中心であるから此の記念事業も何か大阪に相應しきものを選びたい」と云ふので他の案を排して能率研究所設立案を提出し市會は滿場一致を以て此の案を可決した經常費は五萬圓で設立費及び設備費等は同地實業家の寄附を保つことゝし既に夫夫その額も決定して居るので九月までには完成の運びに至ると云ふことである近時能率増進問題に對し最も熱心であり之に依つて產業的發達を眞劍に企圖せんとする大阪に於て新たに能率研究所を得るに至つたことは確かに一段の强味である今後は本機關の完成に伴ひ大阪方面に於ける能率研究事業は必ずや一新紀元を劃するに至ることゝ思考し我國產業界の爲めに本研究所の開設を慶賀すると同時にその健全なる發達を祈る次第である。

莫迦宴會

◆何が贅澤だと云つて會費拾圓也の藝者本位の日本流の宴會ほど贅澤な物はない◆政府が如何に行政及び財政を整理しても奢侈品の輸入關税を引上げても傳統的に習慣付けられた此の宴會の弊風を改めなければ何にもならぬ◆日本の國風にも善い所と惡い所とがあるが藝者本位のだらしない莫迦々々しい宴會は蓋しその惡風陋俗の素天邊だらう◆老記者德富蘇峰翁は七月二十八日の國民新聞紙上に『簡易生活の大敵、贅澤なる宴會の弊風を一新せよ』と題して日本流の宴會を頭からこき下して居る◆其文に曰く『宴會の案內狀には概して御高見拜聽と云ふて居るされど宴會の席にて誰しも高見を吐くものもなければ聽くものもない見るところは酒池肉林のみ◆而して當世流のデモ紳士と特殊職業婦人とが互ひに交錯して譯も他愛もないことを饒舌したり調戲したりする困つた事だ』と◆全くその通り謂ゆる當世流の宴會ほど贅澤なものはなく又之ほど不經濟なものはなく又之ほど莫迦げた物はない◆此の當世流の日本式宴會に限つて開宴時刻が屹度一時間以上も遲れ此間主客は別室に在つて烏鷺を鬪はせたり無駄口を叩いたりして貴重な時間を空費する◆時間を空費する丈でも善くないのに不經濟であつて其のうへ不衞生であるのだから之ほど不都合なものは無い◆イザ開宴となると主賓を床の間の方に据ゑて一同左右にズラリと人形の如く坐列び特殊職業婦人たる藝者が目八分に膳を捧げて一々客の前に配列する◆やがて德利を持つて來て此の白粉こつてりの綺麗首が客の前に坐ると主催者の挨拶に對して來客の答辭が型の如く行はれ然り而して後飲む喰ふ喋べる笑ふと云ふ無禮講に移る◆處でその御馳走なるものゝ實價は高く積つて三四圓程度のもので夫れに酒を加へた處で五圓位なものだのに會費は金拾圓也◆卽ちその半分は藝者と料理屋と仲居に貢ぐのであつて詰り謂ゆる當世流の日本式宴會なるものは彼等を養ふが爲めに開かれるやうなものだ◆彼等を養つて夫れが世の中の爲めに何れだけの役に立つか役に立つどころか淫風を漲らせ風俗を攪亂するのが落ではないか◆當世の紳士紳商卽ち所謂ブルジョアなる者は特殊職業婦人と醜關係を有することを一種の名譽と心得そして待合の酒の味を知らぬものは話せない抔と奇想天外

的の誤託を列べる◆斯んな事をして此間に計畫を立て策を廻らし相談を纏めるのだから少しも公明正大な所が無い◆又斯うして人心の機微を探り社會の裏面を觀察するのだから泥池の中を掻き廻すと同樣少しも眞摯な所がない◆宴會後更らに二次會三次會と發展しドンチャン騷ぎをやらかしお馴染の藝者に咬はられて泥鼠のやうにチユウ〳〵唸りながら結局何處かに沈沒する◆浪費濫費にも色々あるが之程の浪費濫費はない酒と色との二途掛けて血道を上げるのだから又之程の不衞生はない◆家庭では細君が時計を眺めながら『又今夜もお歸りがないのか知ら』と案じて居るだらう子供も『お父さんは何處に泊るのだらう』と怪むに違ひない◆從つて當世流の日本式宴會を濫行する結果は家庭の平和を害し子供の敎育にも好い結果を齎さぬと云ふ事になる◆敢て道學先生を學んで鹿爪らしい說法をするのでは無い何處から見ても料理屋でする日本流の宴會ほど贅澤で不經濟且不衞生で莫迦氣切つたものはない◆更にその結果は能率を低下する事になる此頃は各方面で能率增進といふ事を喧しく言ふが一方に斯んな傳統的の惡い習慣に引摺られて居ては能率の增進など思ひも寄らぬことだ◆『吾輩の身體は酒や女で弱るやうな安價なものぢや無い』と威張るかも知れないが开うは行かない第一精神を腐蝕する◆老記者德富蘇峰翁は更に大喝一聲して『今日我が官民の主腦部と云ふべき部分に於て能率の擧らざる重なる理由の一は此の日本流の置酒高會の宴饗が屢々繰返さるゝが爲である』と言つた◆何にしても惡い所ばかり多い日本流の宴會は斷然之を廢止するか又は經濟的、衞生的、社交的に改良する事にしたい◆政府や會社銀行などが團體的にその財政を整理しても其の從業員の而も頭株のものが酒色に發展して無駄な金を湯水の如く使ふやうな始末では奢侈贅澤の抑制など出來るものか◆個人生活を引締め生活を改善し浪費濫費を節する樣にならなければ駄目の皮である◆藝者を中心にしなければ興味がないと云ふ風に習慣付けられた者は先づ第一にその時代錯誤の頭を改造すべしだ◆宴會は社交本位のあつさりとした經濟的の氣持のいゝものに改めることが今日の一急務だ◆ト幾ら叫んでも因襲と傳統と習慣に囚はれたものが多いのだから宴會改良といふ烏渡した問題も實行はなか〳〵困難だ。

人間的情味

◉印度の詩聖タゴールは歸途諏訪丸船上において日本人へとして一場の講演を爲した◉それは『光は東方より』と題して大阪朝日新聞に掲げてある詩人の感想談だから漠として要領を得ない所もあるが熟讀玩味して見ると一言一語悉く是れ眞理ならざるは無い◉彼は此の講演の中において屢々『人間的情味』『人間的眞情』『人間的性情』と云ふことを繰返し〳〵言つてゐる◉科學を基調とした今日の物質文明は總てを機械化し同時に人間の靈を汚し情を荒ましめ更に此世に我利と爭鬪と屁理窟と我儘を跋扈せしめた◉其處には何等の眞劍味もない愛も人情もない靈は萎れて了つた斯うして人間社會は滅亡に向つて歩を進めつゝある◉或者が火災に遇つて友人から借りた大事な品物を燒失したと假定する其の或者は事情を述べて詫ぶべきこと言ふ迄もない◉併し詫びんでも其の友人たる者は或者の火災に同情して自分の品物の燒失位は問題にせず默つて居るのが人情と云ふものだ◉然るに情を無視する人殊に三百代言的理窟に長じた人間は災難には同情するが貸した物は返して貰はねばならぬ◉ト云つて之を謂ゆる權利なりと主張し火災は火災、貸借は貸借、之を混同してはならぬと貸した物の返却又は賠償を要求して已まぬと云ふ事になる◉斯んな沒義道な人間も少からうが事實當今の社會には之れに類した人間が多く此類の人間が生存の優者强者として大いに幅を利かして居る◉人情など考へては出來ませんとは必ずしも高利貸の言草のみに非ず利慾を目的とする商人の多くも亦然りである◉斯うして機械的物質文明の榮ゆる社會には利害觀念に長じた者ほど優勢で是非善惡の念に優れた者は落伍者となる◉アヽ義理と人情を尊んだ我我日本民族の間にも今や個人的にも社會的にも將た國家的にも大事な靈魂が滅びやうとして居る◉詩聖タゴールは『人間的情味』を高調すると同時に言葉を强めて『曉の來るやそれは荷車の轟々たる聲や商品の觸れ合ふ音やに依つて導かれ來るものではなく唯聲なき信仰によつてのみである』と麗はしく言つた◉誠に洵にその通りだ愛と信仰がなくては滅びる◉愛と信仰は根の如し之れに培ふことを怠つて機械的物質文明のみに憧がるるは間違ひだ乞ふ東方の空より曙光を輝かせ而して全世界を照せ。



憂鬱の沈默

永田新鄕

太市は此月もまた毎日のやうに沈默を守らせられるやうな運命を持つて居た。それが彼にとつては絶對的の苦痛でもあり桎梏でもあつた。自分の心の中には燥ぎたい、そして皆のものをアツト言はせる程の奇拔なことを綺麗薩張りとやつて退けたい希望が滿ち充ちて居るのを、かりそめにも僞つて此の一日を送らねばならぬのかと思ふと、堪らなく此の地に居るのが嫌になるのであるが、飜つて自分の健康を省みる時、やはり海岸に面した氣候の好いK地から離れることが出來なかつた。當分の中はどうしても蝸のやうに此の地にこびりついて居なければならないと思つた。

『太市さん貴郞はまだ憂鬱症が癒らないでゐる？』

と馬鹿にしたやうな口振りで、家族一同が集つて食事をして居る最中に、淸子が斯う云つてひやかした。

太市は『何を言つてやがるんだい』と思ひながら默つて朝食の箸を動かして居た。

『身體の弱いものは可哀想だね』

と次に住吉が太市を横目に見ながら吐き出すやうに言つた。此時太市は、高慢で、横着で、理窟ばかり揑ねたがる住吉の顔を思ひきり強く撲り飛ばして、散々な目に遇はしてやりたい氣がした。

太市は朝食を濟ませると默つて座敷へ出た。そしてK新聞を讀みながら、住吉の奴何かの調子で瀨の早い落ちたら上られない川に陷ち込んで死んでしまへば可いのになど思つたりしたが、その後から『思ふだけでもそれは大きな罪惡だ、俺は何うして彼を呪ふことが出來やう、皆んな揃つて、誰も彼も、愉快に、幸福に所謂最も圓滿な生活をしなければならぬ』と、恰も自分が其の責任者でもあるかのやうに思つて、鋭い戰慄に良心を苦しませた。K新聞は此の小さな町の人間生活のほんの一些事を業々しく書き散すより外に能のない新聞であると思ふと安閑として記事などを讀んで居られなかつた。皆と俺とは何等の交渉もないのだ、と思ふと、K新聞をその儘そこに投げ出して置いて、ふいと裏庭の方に出かけた。

太市が今居る家はT村の海邊で、家族としては叔母と從姉妹の淸子とだけであつたが、數日前から同じ親族に當る住吉が遊びに來て居た。その中で太市が一番年少者だけに總ての場合輕視される傾きがあつた。殊に住吉が來てからは、一家の注意が全然住吉の上にのみ集中されると同時に、以前にも增して彼は此の小さな一家のものから除外され、また蔑ろにされるのであつた。

家から四五丁離れて居るA花園に着いたとき彼は始めて其の日の空を見た。澄み切つた青空に點々と白雲が散在してゐて、それが幾ら經つても微動一つだにもせず、青い空と共に靜かな調子で地上を見詰めて居た

Y山麓には一直線に引かれた霧の柱が其處彼處に樹立してそれが何時しか合體して空に消へて行く。『東北の風が出れば雨だ』と彼は呟きながら、宛然雨模樣を期待してでもゐるやうに濕つぽい冷々とした空氣に頬を嬲らせながら門の前に立ち盡して居た。壁の柵にからみついた餘生の短い朝顏の濃綠の葉に露が微かに輝いて居た。芽んだかと思ふと、何時しか花をつけて、それがまた人知れず萎びて死んで行く花卉の儚ない生命を思ふにつけ、華かなるべき青春の血に燃ゐた自分の肉體が憂鬱と病弱の爲めに凋れがちとなつて、更に希望も愛も住吉といふ對手の爲めに薄らぎ行くのが殘念であつた。彼はこれを運命の機に操られた生命の糸として諦めてしまう事が出來なかつた。『では何うしたら可いんだ』斯う考へて來る時、默して運命と共に終始する外に仕方がないと思ひながらも、矢張り其處には絕へざる不安と焦燥とがあつた。偶には太市の華かなこだはりのない性格が幾分でも甦へることがあつても、それはほんの束の間の事であつて、總てが憂鬱の地に根强く生を植ゐつけてしまつて居て、恰も眞夏の雜草のやうに、拐つても拐つてもその憂鬱が後から後からと絕間なく成長して來て彼を苦しめるのであつた。

此の花園は大變に廣く其處には二棟の建物と一棟の溫室とがあつた。太市の叔母の一家族の生活は此の花園が支持して居ると言つてもいゝ位である。彼は要事のない限りは溫室内の空氣に浸らねば氣が濟まなかつた。花壇にも季節の花が年中絕へた事がなかつた。其處には、靑味を帶びた程に純白なリリイが夜露に濡れて重たく濡垂れて微風に搖られながら、濕つた地表に接吻したり囁きを交はしてゐる時もあつた。文栞莉の

なよ〳〵した如何にも纎弱なのも、香に迷ひ絆はれる蜉蝣の生命の果敢なさを思はせるプリムロスの無情も、炎熱の下に超然として毒々しい赤い笑ひを洩らして居る惡魔のやうなカーネーションも、其他薔薇にしても何にしても、皆とりどりの美と香とを具へて、大地に深く根ざして居た。彼等は一樣に温かな愛に充ちた太陽に抱擁され、或る時は接吻し、或る時は微笑み、また或る時は囁きつゝ、幸福に、愉快に、極く平和な氣持で自分等のそれ〴〵の生活の營みをして居るのであらう。

太市は今日もぼんやりと温室の方に歩いて行つた。と、何時も起る烟のやうな取留めもない不可解な空想が、又しても彼の胸の中に雲の如く湧き起るのであつた。

今でも明瞭に記憶して居るが、或る朝、然もまだ誰一人起きて居ない早朝、何氣なく此の温室の扉を開けた時、住吉の影に折重つた女の姿を見た。太市は長い間眤つと見詰めて居たが彼自身には能くそれが解らなかつた。その印象は極めて淡いもので、唯若い男女が囁いて居るらしい、と云ふ記憶がぼんやりと殘つて居るだけに過ぎなかつた。自分にはその女の正體や又それが男と何んな事をして居たかは殆んど分らなかつた其の當時太市は早速戸を元のやうにして後の方に引返したのであつた。

『女は誰だらう、定まつて居るさ、どうせ……』と自問自答して見ても、結極それは温室内の男女の眞相の表皮だけを撫で廻して居るやうな感じがするのであつた。

『今あすこに居た女は誰だい？』

と太市は女と別れて太市の方に寂しさうな顏を向けて這入つて來た住吉に訊いた。

『誰も居やしないよ』、と住吉は無造作に答へて、顧顳をこつ〳〵と指尖で突いて居た。その瞬間、太市は住吉に一溜りもなく捻り潰されたやうな氣持がして、出し拔けに癇走つた聲で

『そんな事があるものか、確かに女の姿を見たんだ、誰も居やしないなんて、嘘だ〳〵』

と太市は眞赤になつて怒鳴つた。そしてぶる〳〵顫へながら住吉の手を握つて、

『何故君は嘘を吐くのだ、君は僕に虛言する必要は絕對にない筈だ』と責め寄つた。

『では君の勝手にし給へ、僕は誰とも逢はなかつたんだから、君の想像に任すとしやう』

と住吉は面倒臭さうに太市にぐるりと背を向けて靜かに家の方に步いて行つた。

『住吉の云ふことを誰が信じるものか、嘘だ、住吉の奴、俺と淸子との間を妨ける爲めに、いろ〳〵な手段を講じて居るのだ、何と云ふ失禮な奴だらう』

斯う考へると、彼の心は遮二無二先に見た女の素性を究めねば承知が出來なくなつた。

それから數日經つて太市はまた二人の同じ男女の姿を花園の温室の中に見た。それは最早疑ふ余地のないほど明かに住吉と淸子であることが解つた。

『やつぱり淸子だつたのか』、と突きかゝるやうな絕望的な獨語の後、太市は深い又沈默に耽るのであつたそして斯うした出來事を淸子の爲めに繰返さねばならぬのかと思ふと腹立しくもあつた。

太市は種々な事を考へながら温室に這入つた。魅惑的な若葉や嫩芽の蒸香が深い眠りを誘ふやうであつたが、決してそれは浮調子ではなく、しつとりした言ひ難い處女の息吹きのやうな、崇嚴でそして重々しい氣分が汪溢し、自然に何となしに胸が締めつけられるやうにさへ感じられた。今では唯此の温室内の芳香と佳味とが世間に容れられぬ自分を纔かに慰めて呉れるやうにも思はれた。それで、彼は毎朝毎夕、一厘一分宛と延びて行く花の莖に指尖を觸れてみては、何となく自分が甦つたやうに、晴々しく獨り窃かに微笑むのであつた。今も太市は斯うして一人悦に入つて居る時、

『莫迦に早く起きたもんだね』と嘲弄したいらしい口調で仕吉が這入つて來た。

『ちえッ畜生！もう俺の平和な氣持を攪き亂してしまひやがつた』

と太市は思ひながら、而も彼は仕吉と一緒に水やりをしたり、温室内の掃除をしたりした。日に〳〵蒼ざめて生氣の失せたやうな昨今の太市の容子を見る時、清子は堪らないやうな心になつて、その心の中に呻く寂しさをしみ〴〵と感じた。

『太市さんは屹度私を怒んで居るに違ひない』と思ふと、喘ぐやうにして仕事をして居る太市に對して何となく濟まないやうに思はれた。然し彼女は唯濟まないと思ふだけで、それ以上に些しも感情が進展しなかつた、そして彼の氣持を裏切るやうな、何うかして太市さんを笑はしてやりたいと云ふやうなおどけた揶揄半分の慾望に駈けられるのであつた。で、彼女は

『太市さん、無言の行ッて苦しいでせうね、たまにやお笑ひなさいな』と淸子は半ば弄ぶやうに言つた。太市はそれをじつと許容してゐたが、やがて何の氣もなしに突然『馬鹿ッ』と怒鳴つた。そして云ひ知れぬ悲哀のどん底に陥ち込んで行くやうな寂寞と憂愁とが彼を困惑の彼方へ引きづつて行つた。久しぶりに破つた沈默の言葉としては、余りに相應しくないので、彼は少しくぢれたやうに紅い顔をして、もぢ〳〵しながらさつさと淸子から離れて行つた。淸子は變な氣持になつた。處女の誇負を蹂み躪られたやうな氣がして腹立しくもあつた。それでも態と陽氣らしく『ほゝゝ』と笑つた。笑って了つてから、彼女は胸がすつとしたやうな氣持がしたが、太市の憂鬱さうな姿が何うやら氣の毒になつて來ると、自分の無作法な仕打を窃に悲しむのであつた。

『許して下さいね太市さん』。彼女は涙の潤み出さうとする眼を向ふむきになった太市の方に輝かして頷へながら呟いた。そして踵を返すが早いか家に居る住吉の方に走つて行つた。

太市は暫くしてから淸子の笑ひ聲が透んだ秋空に廣がるやうに響くのを聞いた。彼はちよつと眉を顰めたがそれでも花園の中でせつせと鉢に水を注いで居た。何時の間にか四邊の物象が温まりを帶びて來て聽てそれが霧の中に閉ざされて了つた。住吉は客分なので、仕事もせずにぼんやりと淸子と對座したり、そうかと思ふと、用もない淸子と一緒に裏の野菜畑の方を歩きまはつたりして居た。それを見た時、太市は侮辱をうけた時のやうに嚇として來て、夢中になつて彼等を睨みつけるのであつた。正直で純潔な太市は彼等のそれ

に對して俗世間的な防御方法を知らないのみか、少しでも住吉と清子とに對して迷惑をかけるやうな事をしやうものなら、必らず衆人はそれを嫉妬の爲めだとか、苦しまぎれだとか、いろ〳〵と有らぬ噂を眞向から浴せかけられるだらう、との疑惧や恐怖の念を懷いて居た。

太市はまた『住吉の意志の中まで割込んで兎や角する資格はない、俺は清子を信じて居る、また清子に事實少しも疚ましい處が見當らない、要するに俺が至らないからだ、それで居で他人を呪咀したり、恨んだり嫉んだりすることが出來るか』と思つた。どうしても奪はれて了ふものならば潔ぎよく呉れてやつて了うまでの事だと紳士的態度に出やうとも考へた。然し目のあたりに親げに歩いてゐる彼等を見る時、平素は爪の垢程もない野獸性が何處からともなく表はれて來て、彼を迷津に漂はせるのであつた。

『皆んな惡魔の餌食になつてしまへ、俺も清子も……それから住吉も……』と低く唸りながら、太市はぎらぎらと烙きつけるやうな陽を浴びて立つて居た。

『おゝ、誰も平和な生活を營んで居るではないか。安らかな睡眠から覺めて心行くばかり伸んびりと息つきをして居る。大地は永遠に我等のために幸福を與へるであらうか。いやそれは淺墓な考へ方だ。何んで自然が我等の上に惠與を垂れやう。自然は氷室のやうな冷かな息吹きを我等に齎すだけの事だ。要するに我等の誤つた見解の下に自然を憧憬したり有難がつたりして居るのだ。おゝ、皆惡魔の鋭ざい齒に引かけられてざら〳〵した赤い舌で甜め盡されてしまへ！厄介な生物共……』

と太市は心の悩みに大自然の恩恵さへも咀ふやうになつた。然かし彼の目前には動かし難いものがあつた。それは大地に根強く張り詰めた生物の自然に對する愛着である。生物の總ては太陽の强靱な糸に絆みついたり、巫山戯たり、お辭儀したりして居た。斯うして彼等は大自然の下に安らけく生活して居る。夜は闇にきらめく群星の間に自然の神秘と雄大とが表徴されてゐる。併し彼はその神秘にさへも觸れなつた。彼の目に入るものが彼を中心としてげら〳〵と薄氣味惡い笑ひを浴せかけて居るやうに思はれた。

『幻覺だ、幻覺だ、綺麗薩張りと消へて了へ!』と斯う叫ばないでは居られなかつた。彼は救はれ難い深い困惑に呆然として居た。彼の目は力なく開かれてあつた。折柄雀が一齊に囀りたてた、かと思ふと、どつと喊をつくつて、慌だしい羽ばたきをさせて、裏の桒畑の方に消へた。

『太市さん何故そう默つて居るの……』

と清子が何時の間にか彼の後に立つてさう言つた。太市はぎよつとして不圖我に返ると其處に清子がおづおづとして立つて居た。彼の頭はまた熱して來た。四邊には誰も居なかつた。人の心の內を一から十まで直覺的に認めてしまう程の怜悧な清子が、俺のこの苦しみを何にも知らないやうに、わざと白ばくれて訊くのだと思ふと、彼は一層思ひ切つて撲り飛ばしてやりたい氣持になつた。此の刹那に彼の心の中に野となれ山となれ的な無責任な處置を取る愉快さが狂ほしく渦き始めたが、清子の透明な瞳の輝きが汚れた自分の精神に映つた時、荒み行かうとする心に清新の氣が甦つて、漸く我に返るのであつた。

『清子は俺の心の總てを知つて居るのだ。知つて居るのみか同情さへして居るのではないか。それだのに却つて住吉と共謀して散々俺を苦しめやうとして居る。さうだ。彼女は總てを承認してゐてそれで俺を嘲弄しなくては居られないのだ』。斯う思ふと止度なく淚が浸み出るのだつた。

『身體の具合が惡いんぢやないの……』

斯う淸子に言はれた時、太市は長い間考へて居なかつた神經衰弱のことが思ひ出された。

『身體の具合が惡いのかつて……。フーン、それを心配して吳れるのなら、何故俺の氣持になつて吳れないのだ。お前は唯だ俺の心を苛々させる爲めにさう聞いたに過ぎないのだらう』

と太市は全く忌はしいものを見せつけられたやうな嫌な氣持がするのであつた。

『太市さんは何か怒つて居るんぢやないの……』

太市はそれに答ねないで默つて裏庭の方に行つた。大地も草も木も皆靜かだつた。

『話してよ、ね、私に云へない事はない筈だわ』

清子は太市の後を追つて定めつけるやうに更らに言つた、そして太市の顏を靜かに見詰めると以前に變つた彼の焦悴した容子がいぢらしかつた。彼女は淚ぐましいやうな感傷的な衝動に顫へながら透いた青空の一端を仰ぎ見た。平地は山に遮られて居たが、綠がそれを飛び越へて、平坦な綠野が無限に展かれて行くやうな氣がした。太市の惱みも住吉がゐる間は此の大地と同樣に永久に盡きないのではなからうかと思つた。而

も『其處に處女の誇りがある！』と彼女の胸はおどつて居た。

『何といふ太てぶてしい女だらう』と太市の目は熱で炎へた。彼は苛々として、齒を喰ひしばつて、熱した涙をほろりと落した。清子は涙の滴りが土の中に消へて行くのを見詰めて居た。

清子は太市の氣持を少しでも余計に自分の方に割込まさうとする。沈默の太市にも心の閃めきは慥かに見える。で、以前の太市に引き返へそうと思つて、清子はいろ〳〵と工風するのだが、結局は心にもない浮調子の言葉で笑つて了ふので、どうにも仕方がなかつた。

『私が素裸體になつて、自分の眞個の氣持を示したならば、太市さんだつて私の全部を了解して呉れるに違ひない』とは思つたが、いざとなると、太市を愛する心はあつても、そうした意氣込みや用意が覆はれてほんとに不眞面目に思はれるやうな話振りをして了ふのだ。彼女は自分の缺點を覺つて居た。泪！、償はれない怨恨の涙！救はれ難い悲嘆の泪！彼女の目にも次第に涙が潤んで來た。

『まあ、どうしたの太市さん』

清子は遂に太市の手を握つてきつと力を加へた。太市は高壓電氣に引きつけられたやうに心臟に時ならぬ痺れと痛みとを感じた。思はず機械的に清子の手を握り返した。そして

『清ちやん』と、彼は此時初めて沈默を破つた。

が、又直ぐ元の沈默に戻つて、彼は心の中で『之が虐げられた男の聲だ、肉體の力だ、俺にはもう情熱を

炎やして呉れるやうな點火が與へてられて居ないのだ。悲痛に困憊した神經が微動するばかりだ。俺の心臟の弱々しいのは恰度哀曲を奏して居る音樂のやうなものだ。清子、お前は俺を其の冷かな瞳で見詰ることの出來る程、大膽な無情な女性だつたのか。俺は、此の不束な俺は、お前と云ふ女性に飜弄されたといふ事を今の今、漸く知つたのだ』と思つた。彼の手は此の時痙攣した。

『あゝ、ほんとに何うすればいゝの、太市さん、眞直ぐに思ふこと言つて頂戴』

清子は喘ぐやうな息吐きをしながら力を加へて云つた。彼女の胸も切なかつた。此の一人の異性の惱みに悶へる其のいぢらしさが、凡百の不平、凡百の犧牲よりも太市の身に泌みて悲しかつた。

太市は俯向いたまゝ『住吉さへ居なければ俺はこんな虐めな態度にはなつて居ないのだ、三角形の底邊のやうな俺は他の二つの斜邊に壓し潰されて了ふのだ』と考へながらも、低い緊りのある聲で

『何んでもないんだ、何でもないんだ、淸さんは住吉の方に行け、それで可いんだ』

彼の聲はぴんと響いた。そして彼は自らの聲にぎよつとして我に歸つた。そして堪らなくなつて仕事着のまゝ海岸に向つてひた走つた。やがて彼は海岸に近い松林を縫ふて走つて居た。悲哀でもなければ、忿怒でもない、極めて不可解な感情が彼の神經を混亂させてしまつて、眼に觸るゝ有りと凡ゆる物象が宛然踊り狂つて居るかのやうに彼を取り卷いて居た。松林に反響する浪の音も不過な惡く運命付けられた自分の身にそれとなく同情の動器を注ぎかけて居るかのやうに聞れた。

地上は竟に擾亂の巷に化してしまつた。總てが統一から離れて、極みなき亂脈に陷入り、或るものは叫び或る者は喚き、また或る者は暴れる。波は砂を噛んではごごつと磯を打ちつけた。松林は風に和して虚空の何物かを拂ひ退けやうと怒鳴つて居る。荒い砂は龍卷のやうな天に突き入つてはさつと落ちて來た。太市は海岸に立つて暫時此の目ざましい光景を見詰めて居た。

『おゝ、地の終りだ、惡魔共の死を飾る最後の力よ、總てを覆せ！』

彼は喜ばしそうに手を擧げて折柄中天に輝く太陽を仰いだ。太陽は或は赤黑く、或は白茶けたやうになつて、隕石の飛ぶやうな速度で偉大なる光を放つて居る。

そこで彼は、砂にまみれながら、自ら涙に溶け込めよと許り激しい鳴咽に身悶ねた。そして自分の過去の生活の斷片を描き出して、其の一つびとつに呪咀の白針をつぶり〳〵と刺して行き、更らに不遇な生活斷片の呻吟を滿身の笑ひを浮べて聞き入つて居た。何時かは消へ果つべき太市といふ一個の肉體とはいへ餘りに多くの癒へ難い心の創痍を受けて來た。そして底知れぬ闇のやうな懊惱に苦しまねばならないのかと思ふと彼の沈默の憂鬱はます〳〵深くなりまさつて行くのであつた。『行くべき處まで行けば川の水も遂に海の水となる』と云ふ輕微の締めが彼にはどうしても出來なかつた。

彼は、憂鬱の沈默に閉ぢられた太市は、潮の飛沫に濡れながら、何時とはなく泪を納めて、無心に紺青の澄み切つた空を眺めて居た。（一三、八、六）

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主さする間接機關でありますが研究さ共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評さ相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員さし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名竝に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要さ認めたるさき又は評議員五名以上の請求ありたるさき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以て之れに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◉先秦の政治思想……………
　附、儒家哲學さ其の政治思想　大連　支那文化叢書刊行會

◉滿洲に於ける外人の經濟的勢力狀況…………　滿鐵庶務部調査課

◉上海職業公會營業規則…………

◉日米兩國の對支相互關係…………

◉中國歷史人物さ地理の關係……　上海　東亞同文書院研究部

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、新生活、日滿通信、滿蒙、讀書會雜誌新天地、海友、滿蒙實業彙報、調査時報、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、大陸、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、聖德會會報、(以上は大連)◉大陸日日新聞、奉天新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟新報(以上は奉天)◉調査彙報(長春商議所)◉大乘(上海)◉青島新報(青島)、◉調査彙報(朝鮮總督府)、◉朝鮮地方行政、京城日報、朝鮮新聞、朝鮮及朝鮮人朝鮮及滿洲(以上京城)◉釜山日報(釜山)◉平南毎日新聞、平壤商業會議所月報(以上平壤)◉臺灣時報、臺法月報(以上臺灣)◉臨時產業調査局資料、滿鐵東亞經濟調査局經濟資料、東洋、支那、東京商業會議所所報、愛國婦人、人道、大東公論、週間日本(以上東京)◉紡績界(大阪)同志社時報(京都)◉東亞經濟研究(山口)◉福岡日日新聞(福岡)

毎月一回發行

定價表

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

普通號六拾錢、特別號七拾錢

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十三年九月一日發行

發行人　山田武吉
編輯人　大內四郎
印刷人　太田信三
印刷所　大連市大山通　小林又七支店

發行所(電話五四二六番)
滿洲社會事業研究會
大連市松山町五番地七號
振替口座大連一二三九番